

2026

WASEDA BUSINESS SCHOOL



Waseda Business School (Graduate School of Business and Finance)
早稲田大学 大学院経営管理研究科



早稲田大学ビジネススクール
(大学院経営管理研究科)

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
TEL: 03-5286-8719 FAX: 03-5273-4371
E-mail: wbs-admissions@list.waseda.jp
<https://www.waseda.jp/fcom/wbs/>



ACCESS

■電車をご利用の場合

- ・地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅 徒歩5分
- ・都電荒川線 早稲田駅 徒歩5分

■バスをご利用の場合

- 都バス「学02」(学バス)
- 「高田馬場駅」乗車 - 「西早稲田」または「早大正門」下車





Actionable knowledge unlocks your potential.

多様なビジネスリーダーを養成する
専門職大学院

WBS 3つのポイント

■ 理論と実践の融合

国内外で研究者として多くの実績を持つ教員、海外の著名大学において教育研究に携わった教員、実業界におけるトップリーダーとしての経験を持つ教員など、多彩な教授陣が「アカデミズムと実践の融合」を実現するプログラムを提供します。

■ 国際認証EQUISとAACSBを取得した競争力の高いビジネススクール

2019年の国際認証EQUISに続き、2020年2月に国際認証AACSBを取得しています。マネジメント教育を認証する主要な二つの国際機関から認証を取得したことで、早稲田大学ビジネススクール(WBS)の教育研究事業が世界最高水準の品質であると国際的に評価されたものです。WBSは、EQUISとAACSBの2つの国際認証を取得した日本で2校目のビジネススクールです。

■ 多様なニーズに応える充実したプログラム

平日昼間に通う全日制プログラムだけでなく、働きながら平日夜間・土曜日に学べる夜間主プログラムを提供し様々な学修スタイルに対応。「ジェネラリストの育成」や「高度な専門知識の探究」、「国際派ビジネスパーソンの養成」、「財務・金融のスペシャリストの育成」などプログラムによって目指すゴールも多様です。

Contents

早稲田大学ビジネススクール(WBS)	
3つのポイント	2
ミッション&研究科長メッセージ	4
教員インタビュー	6
プログラム概要	8
■ 全日制 MBA	10
■ 夜間主 MBA	14
■ International MBA	18
■ MSc in Finance	20
■ 早稲田-ナンヤン ダブル MBA	22
WBSが提供する特別授業等	23
グローバルネットワーク	24
Diversity, Equity & Inclusion	26
学生活動・修了生向けの活動	28
ビジネス・ファイナンス研究センター	29
教員紹介	30
Data	34
入学試験	36
入学金・学費等	38

Mission & Dean's Message

可能性をunlockする
経験と出会いが
ここにある

池上 重輔 教授

早稲田大学商学部卒業。一橋大学より博士号(経営学)を取得。ボストン・コンサルティング・グループ(BCG)、MARS JAPAN、ソフトバンクECホールディングス、ニッセイ・キャピタルを経て、2016年より現職。2024年9月研究科長就任。専門分野は経営戦略、グローバル経営。Academy of International Business (AIB) Japan Country Director、国際ビジネス研究学会(JAIBS)理事、異文化経営学会副会長。早稲田ブルー・オーシャン戦略研究所所長、早稲田グローバル・ストラテジック・リーダーシップ研究所幹事。英国ケンブリッジ大学ジャッジ経営大学院MBA、英国国立シェフィールド大学政治学部大学院修士課程国際関係学修士、英国国立セント大学社会科学部大学院修士課程国際関係学修士。近著に『Resolute Japan』(Wharton Press)、『インバウンド・ビジネス戦略』(日本経済新聞社)などがある。

早稲田大学ビジネススクール(WBS)は日本国内において世界最高水準の品質の学びを提供するビジネススクールを目指して「経営管理研究科」へと再編されて、2026年で10年となります。教育の質の向上や、教員・学生のダイバーシティ推進、ハインパクト研究・国際共同研究の促進など、スクール一丸となってWBSは挑戦と進化を続けてきた結果、修了生、在学生、関係する企業や大学等から高い評価を得てきました。国際的にも高い評価を獲得し、EQUISとAACSBという2つの国際認証を取得しています。

かつてないスピードで世界が変化するなかで、ビジネス環境はますます複雑さと

予測困難な状況を強めています。グローバルにものごとを捉える視点は、たとえ事業活動が国内中心であっても、今や不可欠です。加えて、生成AIをはじめとする技術革新や、地政学的なリスク、価値観の多様化などにも広く意識を向ける必要が生じています。リーダーには、これまで以上に高い視座と深い洞察、そして強い倫理観が求められる今、そうした人材を育成するビジネススクールに期待される役割も、より多様に広がっていることを実感します。

また一方で、ビジネススクールで学ぶ人々の動機や目的も多様化しています。「自身のキャリアアップやキャリアチェンジにつなげたい」「自社をもっと良くしたい」といった目的にとどまらず、「出身地に戻ってファミリービジネスを発展させたい」、あるいは「Iターン先の地域の活性化にビジネスを通じて貢献したい」といった志を持ってWBSで学ぶ人も増えています。

このように多様化する社会や企業、ビジネスパーソンニーズに応えながら、WBSのミッションをより高いレベルで追求するためには、WBS自らも柔軟に変化していく必要があります。2026年からのWBSのプログラム改編、およびカリキュラム改革は、こうした時代の変化に未来志向で対応し、さらには先んじて変化をリードしていくことを目指したものです。グローバルマインドセットをもった全人格的なリーダーの育成を中核テーマに据えて、日本語による全日制・夜間主MBAプログラムを刷新しました。WBSには、経験豊富な実務家教員と研究者教員がきわめてバランス

良く揃い、すべての教員がActionable Management Knowledgeの実践というミッションを共有し、ビジネスへの適用を意識して講義やゼミを展開しています。そして多様なバックグラウンドと高い志を持つ優れた学生が、世界中から集まっています。この環境がもたらす刺激は、皆さん一人ひとりが自身の今の状況や強みを客観視し、より明確な目標や志を見いだすきっかけとなるでしょう。その意味でビジネススクールは、可能性をunlockする場所、つまり限界を取り払って自らの可能性を大きく広げる場所だと私は捉えています。WBSのダイナミックな学びの場を象徴するゼミは、その最たる機会となるでしょう。ゼミでの討議や研究論文の執筆を通して、自身の関心や問題意識を深掘りしていくなかで、新しい可能性が徐々に具体化していくはずです。まだ見ぬ未来の選択について解像度が増すからこそ、決断や行動につながりやすくなるのです。

WBSでの1年あるいは2年の学びは、講義やゼミ、プロジェクトワークや論文執筆も含めて、毎日がタフであることは間違いありません。そうした健全なストレスに向き合いながら工夫と努力を積み重ねる経験が、人を大きく成長させ、思いもなかった新しい可能性がひらけていきます。挑戦の一步を踏み出す皆さんを、私たちWBSの教員陣やスタッフは全力でサポートします。WBSの新プログラムを通して、視野を広げ、思考を鍛え、キャリアや人生も含めた未来の選択肢を自らの力で広げていただきたいと思います。

早稲田大学ビジネススクールが掲げるミッションは、
3つの要素(D-IN-A)から成り立っています。

WBS creates
a dynamic learning community
for all stakeholders as a catalyst for developing
insightful and responsible global leaders
with actionable management knowledge.



新時代のビジネススクールへ。WBSが進化します

澁谷 WBSは2026年度より日本語のMBAプログラムを昼・夜ともに刷新します。今回のプログラム改編は、WBSが社会や企業からの要請に応えながら、スクールとしてのミッションをより高いレベルで実現し、新時代のビジネススクールを目指すためのものです。

竹内 昼間のプログラムは、従来の2種類から、標準修業年限1年の「全日制MBA」へと一本化されます。通常、MBAプログラムは2年がスタンダードであり、この改編は先駆的な試みとして大きなインパクトを世の中に与えるでしょう。背景には、実務から離れる期間をできるだけ短くしたいという、学生自身や派遣企業からのニーズの高まりがあります。1年という短期間でMBAを取得するリスクリリングの機会をより多くの学生に提供します。

澁谷 この「全日制MBA」は、必ず1年で修了しなければならない、ということではありません。留学や海外プログラムなどを柔軟に選択することができ、プラス半年や1年など、学びの期間を延長することも可能です。WBSは海外トップスクール41校と学生交換協定を結んでいます。早稲田だから叶う、欧米やアジアの名門校で学ぶ機会を活用してほしいですね。

竹内 夜間のプログラムは、標準修業年限2年の「夜間主MBA」に統合されます。このプログラムの特色は、各自の目的やプランに応じて学びをデザインできる自由度の高さです。これまでの夜間プログラムでは「専門性を深めることに比重を置いたプログラム」「ジェネラル・マネジメントに必要な幅広い知識の修得に重点を置いたプログラム」が分かれ、受験時に選択する仕組みでした。今回のプログラム統合により、タテの専門性とヨコの幅広い知見を合わせた「T字型」の強みを、どのようなバランスで伸ばしていくかを学生自身が選べるようになりました。

澁谷 併せて、専門に特化した学びを修了したことを認定する「コンセントレーション」の制度を新設し、ファイナンス分野から導入します。また各プログラム共通の修了要件として、従来は「必修コア科目」と「選択必修コア科目」に分かれていたものを整理し、新プログラムでは「必修コア科目」8科目の履修が修了要件となります。

竹内 必修コア科目には、リーダーシップ科目が新たに加わりました。これは「全人格的なリーダーを育成する」という新プログラムの中核テーマに沿ったもので、理論的枠組みを学ぶだけでなく、リーダーとしての立ち居振る舞いや倫理的・哲学的なマインドセットの醸成も含めて、リーダーシップの本質を追究します。洞察力和倫理観を備えたグローバルリーダーの育成は、WBSの重要なミッションの一つです。

澁谷 昼・夜の学生の相互交流や連携は、新プログラムではいっそう活発になると予想しています。これまでは、昼間の学生が選択履修できる夜間開講科目には上限がありましたが、今回それを撤廃したためです。また、WBSの特長として挙げられ

より豊かな学び合いが実現します

昼夜の学生の連携がさらに活発に

自らのプランに沿ってデザインを

T字の強みをどう伸ばしていくか

澁谷 寛 教授

専門はマーケティング。東京大学法学部卒業後、東京電力(株)に勤務。慶應義塾大学でMBAを取得。同社退社後に慶應義塾大学で博士号(経営学)を取得。新潟大学助教授、東北大学教授、学習院大学教授、仏・レンヌ第一大学ビジネススクール客員教授等を経て、2022年より現職。これまで情報通信サービス、IT系を中心に、食品、住宅、エンターテインメント等多くの企業において、特にデジタル・マーケティング戦略、顧客分析、ブランド構築、人材育成等の策定、実行支援を数多く経験。日本消費者行動研究学会会長、日本商業学会『JSMJジャーナル』編集長、日本マーケティング学会『マーケティングジャーナル』副編集長等を歴任。近著に『1からのデジタル・マーケティング』(共編著・碩学会)などがある。

竹内 規彦 教授

専門は組織行動論及び人材マネジメント論。名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程修了。博士(学術)学位取得。東京理科大学准教授、青山学院大学准教授等を経て、2012年より早稲田大学ビジネススクールにて教職をとり、2017年より現職。現在、Asia Pacific Journal of Management 副編集長、欧州 Evidence-based HRM 誌編集顧問。これまでに、Association of Japanese Business Studies (米国) 会長、経営行動科学学会会長、産業・組織心理学会理事、組織学会評議員、『経営行動科学』副編集委員長、京都大学経営管理大学院客員教授、国立成功大学(台湾)客員教授等を歴任。組織診断用サーベイツールの開発及び企業での講演・研修等多数。

るゼミについても、必修を継続します。ゼミは、WBSがミッションの一つに掲げる Dynamic Learning Community を象徴するもので、修了生や学外の企業・団体等も含めて学びのコミュニティが形成されています。学生同士が相互に、あるいは学生と教員とで議論を深めながら「学び合う」文化は、変わることなく、むしろさらに発展を遂げながら受け継がれるでしょう。

竹内 WBSは専任教員数や学生数において国内最大規模のビジネススクールです。一般的に、組織が大きくなるとセグメント化やセクショナリズムの傾向が生じるものですが、WBSにはそれがありません。スクール全体で一体感をもって、より良い教育研究活動をたゆまず追求し続けています。また同時に、教員ごとの教え方のスタイルの違いを「是」とする考え方が根付き、各教員の個性が際立つ講義やゼミ活動が展開されていることもWBSの特色であり魅力です。

澁谷 かつて私自身がビジネススクールで学んだ日々を振り返ると、自分の得手不得手や強みを人生で初めて認識した場所だったように思います。それまで考えもしなかったところで、自分が周りの人より得意かもしれないと思うことが見つかり、その先の可能性が大きく広がった気がしました。そうした発見は、「自分はこの道だ」と決めつけず、視野を少し広げたときに訪れるのかもしれませんが。異なるバックグラウンドの人たちが交わり合う環境だからこそ、今までとは違う視点で自分の可能性を探る機会になるでしょう。

竹内 WBSには、多種多様な人が一堂に集まる環境に加えて、キャリアについて考える科目もあり、自身のキャリアや人生を棚卸しする非常に良いタイミングになります。T字型の強みを、タテとヨコでどのように伸ばしていくのか、自らのプランを持って主体的な姿勢で学びを進めてほしいですね。そしてそのプランは、実際に授業を受けたり、多様な人と交流したりする中で変わっていくのは自然なことで、それこそが学びであり成長だと言えます。

澁谷 プランを立てることも、状況に応じてそれをフレキシブルに変えていくことも大切ですね。一方で、全くのノープランでビジネススクールに飛び込む人もいます。私自身はそうした人々を応援する気持ちが強くあります。というのも、私もかつてそのタイプで、明確な目的もないまま入ったビジネススクールでの経験が、結果的にその後の人生を方向付けることになったからです。個々の学生に寄り添い、一緒に考えていく時間を大切にしたいと思っています。

竹内 それこそがWBS・早稲田大学が掲げるダイバーシティ&インクルージョンですね。これは国籍や世代、性別といった属性の多様性を指すだけではなく、学ぶ動機や考え方、価値観も多様な人たちがともに学び合うからこそ、異なる角度からものごとの本質に迫り、課題解決への道筋を見いだす場となり得ます。経営の実践知を獲得しながら、洞察力和倫理観のあるグローバルリーダーを目指していく。このダイナミックな学びのコミュニティの一員に、皆さんにもぜひ加わっていただきたいと願っています。

実践＋アカデミズムの研鑽で 市場価値ある人材に

「次代」のビジネス界で求められるのはアカデミズムに裏打ちされた確かな知識と実践力。
それらを確実に活かすことで自らの市場価値を高め、ビジネス界で真に活躍する人材となるために、
WBSでは特徴ある5つのプログラムを用意しました。

プログラム概要

全日制 MBA

凝縮した1年間の学びで価値ある ジェネラリストに

ビジネスで必要とされる広範な知識を修得しながら、分析力、判断力、
実行力をブラッシュアップ。バランス感覚に優れたジェネラルマネジメン
トのプロを目指す、1年間の集中プログラムです。

標準修業年限	1年	授業時間	平日昼間中心
入学時期	4月	履修言語	日本語
授与学位	経営管理修士(専門職)／Master of Business Administration		
入学試験	一般入試、企業派遣入試、事業承継者入試		

夜間主 MBA

総合能力+αを手に入れる 高密度プログラム

ジェネラルマネジメントについて幅広く学びながら、ゼミ等を通して自身
の「強み」となる得意領域を構築。働きながら学べる2年制プログラムに
より、豊かで多様な人脈も獲得できます。

標準修業年限	2年	授業時間	平日夜間・土曜
入学時期	4月	履修言語	日本語
授与学位	経営管理修士(専門職)／Master of Business Administration		
入学試験	一般入試、企業派遣入試		

International MBA

グローバルマインドを備えた ビジネスリーダーを育成

各国から留学生を積極的に受け入れ日常的に「世界」と接することのでき
る、国際性と多様性に富んだ学びの環境を提供。ビジネスの知識だけでなく、
国際的センスを備えた新時代のビジネスリーダーを育成するプログラムです。

標準修業年限	2年	授業時間	平日昼間中心
入学時期	9月	履修言語	英語
授与学位	経営管理修士(専門職)／Master of Business Administration		
入学試験	AO入試、事業承継者入試		

MSc in Finance

グローバルに活躍するファイナンスの プロを養成

ファイナンス理論をコアとして、企業活動等において必要となる知識・技
能を備えた人材を育成します。修了に必要なすべての科目、演習(ゼミ)は
英語で行われます。

標準修業年限	2年	授業時間	平日昼間中心
入学時期	9月	履修言語	英語
授与学位	ファイナンス修士(専門職)／Master of Science in Finance		
入学試験	AO入試		

早稲田-ナンヤン ダブルMBA

英語で学び 世界へ羽ばたくリーダーに

WBSとシンガポールのトップ校、ナンヤンビ
ジネススクールで学び、両校のMBA学位を取
得できるプログラム。国際派ビジネスパーソン
としての能力を磨き上げ、自立したグローバ
ルリーダーとなることを目指します。

標準修業年限	14か月
授業時間	平日昼間中心
入学時期	7月
履修言語	英語
授与学位	Master of Business Administration, Nanyang Technological University 早稲田大学経営管理修士(専門職)／ Master of Business Administration
入学試験	AO入試
履修場所	シンガポール(7月～2月)、 東京(4月～8月)

WBS の国際評価

2つの権威ある国際認証を取得した 国内有数のビジネススクール

EQUIS は、現在、全世界で約200のビジネススクールのみが取得して
いる国際認証です。早稲田大学ビジネススクール(WBS)は、2019年3
月に本認証を取得し、日本で2校目のEQUIS認証校となりました。本
認証を取得するにあたっては、認証団体が定める多くの基準を満たす
必要があり、研究科内の制度改善・改良を重ね、教員の業績やその
他データ収集・分析にもとづく自己評価書を作成しました。EQUISは、
EQUIS認証団体に、マネジメント教育に関する国際的な教育品質評
価機関である、EFMDが任命した専門員からなる審査団が、多数の
項目について審査現地査察を行い、その厳正な審査基準を満たした
教育研究機関のみが、取得することができる資格です。

AACSBは、1916年アメリカのビジネススクールが中心となって発足
したマネジメント教育分野での最初の国際認証機関で、EQUISと
並んで権威ある国際認証として世界中に認知されています。現在、全
世界のビジネススクールのおよそ5%にあたる約1,000校がAACSBの
認証を取得しており、WBSは2020年2月にAACSBを取得しました。
AACSBは、グローバル基準に則ったビジネススクール教育の質の維持・
改善を目的としており、とりわけ改善プロセスを重視しています。WBS
では、認証取得にあたり多項目にわたる認証基準について、数年に
わたる自己評価報告書の作成とAACSBの委員会におけるその審査、
AACSBが任命した有識者で構成された査察団による実地審査など、
厳正な審査を受け、結果としてWBSの教育の質の高さ、および複数
年にわたる改善計画が評価されました。

これらの、マネジメント教育を認証する主要な2つの国際機関から認
証を取得したことで、WBSの教育研究事業が世界最高水準の品質で
あると国際的に評価されたものです。WBSは、EQUISとAACSBの2
つの国際認証を取得した日本で2校目のビジネススクールです。



Eduniversal Best Masters Ranking 2024 (MBA full time)

日本国内で第2位、東アジアで第7位

Eduniversalは、様々な高等教育機関を専門と
する格付機関の中でも最も網羅性が高いとされ
ており、世界150か国以上で約1,000校のビジネ
ススクールを選定しています。同機関が発表す
る「Eduniversal Best Masters Ranking 2024
(MBA full time)」において、WBSは全体評価
で、最高水準の「5 Palms of Excellence」を獲
得し、日本国内で第2位、東アジアで第7位に選
出されています。



全日制MBA

日本語 1年〔4月入学〕

ジェネラルマネジメントの知見と バランス感覚を備えた ビジネスリーダーを育成

業務を離れビジネスについて集中的に学べるプログラムです。

凝縮した学びと入学直後から所属するゼミでの活動により、
短期間でリーダーとしてのステップアップが可能です。

凝縮された濃密な学びで手にする確かな成果

総合的な経営知見を集中的に学べる、平日昼間中心の1年制プログラムです。MBAのコア科目をベースに学び、ビジネスで必要とされる広範な知識を修得します。限られた時間のなかで行われる凝縮した学びは、自立心、実践力の向上にも役立ち、ジェネラルマネージャーそしてビジネスリーダーとして活躍する将来へとつながっていくでしょう。コア科目は同一クラスで行いますが、科目の選択によっては夜間主学生や英語プログラム学生との積極的な交流も期待できます。集中型の海外開講授業や留学プログラムにも、多くの学生が参加しています。入学直後からゼミに所属し、今後のビジネスで活きるプラスαの得意領域を獲得し、その成果をプロジェクト・ペーパーとしてまとめます。1年間の濃密な学びを求める人に最適なプログラムです。

＊本プログラムは平日昼間の授業を前提としたプログラムとして設計されているため、就業しながら通学することを想定しておりません。

2026年度開講ゼミ（予定）

入学後に選択します。

池上 重輔 教授	経営戦略と市場創造
イネステーラー 笠 章子 教授	DX、グローバル化の中の 企業価値創造
長内 厚 教授	日本のイノベーション戦略
清水 信匡 教授	事業戦略遂行のための 業績管理システム
杉田 浩章 教授	市場創造と トランスフォーメーション
田村 泰一 准教授	事業戦略と オープンイノベーション
長谷川 博和 教授	アントレプレナーシップと 事業創造
東出 浩教 教授	アントレプレナーシップで 幸せを創る

＊開講ゼミは変更となる可能性があります。

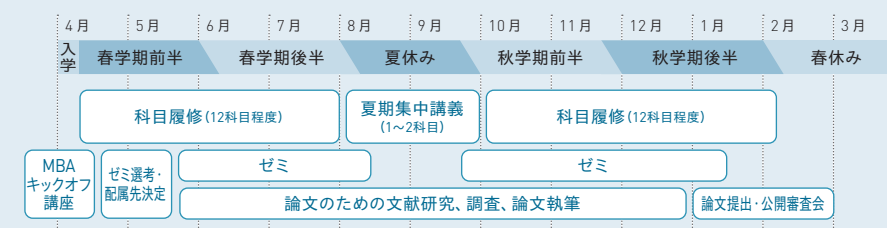
授業開講時間はP.39をご参照ください。

プログラムコーディネーター 杉田 浩章 教授



WBSのユニークなところは、多様なバックグラウンドを持つ仲間が集い、多彩な経験を持つ教員たちと本気でぶつかり、切磋琢磨し、真剣勝負の中からお互いに学び合う場です。その中から自分自身の強みや興味関心が明確になっていき、新たな自分を発見する機会につながり、自身にとっての将来の可能性が広がっていくことでしょう。全日制MBAプログラムは極めて密度の高い一年間にフルコミットし、今までの自分を振り返るとともに、一旦リセットしてフラットにいろいろな意見や学びを吸収できる場です。コンパクトな人数で運営される同プログラムは、志を同じくする社会人学生が、あたかも一つのクラスとして席を共にし、社会課題の解決や経営において有用な理論を学び、実践的なケースを通じて考え抜くことで、経営やリーダーに必要な視点、視野、視座を身につけていきます。クラスやゼミ活動を通じてお互いがお互いから学びあう濃密な時間は、ものを見る視点や思考の幅を広げ、自分自身にとって大切な軸とは何かを突き詰めるよい機会になるとともに、企業や業界を超えた生涯の友となる素晴らしいネットワークを築くチャンスとなります。仕事から離れての1年間で自分の将来のために投資してみようと思われる方は、ぜひとも全日制MBAプログラムにチャレンジしてください。本気でチャレンジしたい方々を待っています！

1年間のスケジュール



履修例

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
8:50							
12:20	1限目 2 5限目 の中から 2コマ受講	1限目 2 4限目 の中から 2コマ受講	1限目 2 4限目 の中から 2コマ受講	1限目 2 5限目 の中から 2コマ受講	1限目 2 5限目 の中から 4コマ受講	発表資料作成 研究テーマ 文献調査等	
18:40	ゲスト スピーカーと 討論	5限目 6限目で ゼミ受講 (2コマ)	同級生とディス カッション			3限目・4限目 2コマ受講	
24:00	予習	予習	レポート作成	クラスメイトと グループ ワーク	予習	課題/ レポート 作成	翌週の 授業の 予習などの 準備

予約型(入学前)給付奨学金（出願時に申請し、合格者発表時に採用が内定する奨学金です）

仕事から離れて学ぶ学生のために全日制MBAには、予約型(入学前)給付奨学金を設けています。

奨学金名	経営管理研究科専門職奨学金
種別	給付
奨学金額	入学金および入学初年度春学期学費
出願資格	全日制MBA志願者で、かつ、日本人等 ^{*1} 英語スコア(TOEIC800点以上)

^{*1} 在留資格が「永住者」「定住者」「日本人(永住者)の配偶者、子」の方も対象になります。

Student's Voice



次世代を担う 経営力を磨き 新たな一歩を踏み出す

辻 雄康

2024年4月 全日制プログラム入学
(事業承継者入試)

家業である辻調理師専門学校を3代目として継承し、将来的に経営の意思決定を行うための力を身につけることを目的としてWBSに入学しました。これまで、サントリー「サンゴリアス」に所属シラグビーリーグワングでプレー、2022年には日本代表に選出され、フランス戦に出場するなど、スポーツの第一線で活動してきました。スポーツの現場で培ってきたリーダーシップやチームマネジメントのスキルを、ビジネスという異なる領域でも活かしたいと考え、経営知識を体系的に学ぶ必要を感じてWBSへの入学を決意しました。WBSには、様々なバックグラウンドを持つ仲間が集い、ダイバーシティに富んだ環境の中で、共に切磋琢磨できる点が大きな魅力です。これまでの経験を活かしつつ、多様な価値観や知見に触れることで、新たな視座を持ったリーダーシップを磨いていきたいと思っています。将来的には、WBSで学んだ知識を活かし、辻調理師専門学校の経営を支えるだけでなく、料理界全体の発展に貢献できる存在を目指し、今後もチャレンジ精神を持って、新たな視点を取り入れながら成長していきたいと思っています。

■ 修了要件

1年以上在学して、50単位以上を一定の成績平均点を満たした上で修得し、プロジェクト研究および研究指導を経てプロジェクト・ペーパーを執筆します。論文審査および試験に合格した者に対して、「経営管理修士（専門職）」の学位が授与されます。

必修コア科目	選択科目			専門研究			計
	日英科目	海外開講科目	一般選択科目	プロジェクト研究	研究指導	プロジェクト・ペーパー	
16	4 ～		8 ～	4	合格	2	50

※ 早稲田大学内の他研究科や交換留学先の海外大学院に設置されている科目の単位は、審査の上、修了必要単位に算入できる場合があります。

※「研究指導」は単位付与はありませんが、所定の指導を受け合格する必要があります。

■ 科目紹介 (2026年度予定)

必修コア科目

リーダーシップ、マーケティング、ファイナンス、ビジネス会計、人材・組織、経営戦略、ビジネス統計、技術・オペレーションのマネジメント

選択科目

【総合経営系】

統合経営、コンサルティング実践、ビジネスモデル・イノベーション ほか

【マーケティング系】

マーケティング&ブランド・マネジメント、マーケティング・リサーチ、消費者行動論 ほか

【人材・組織系】

戦略的人材組織マネジメント、変革の時代のトランスナショナルリーダー、組織における人間行動、ビジネスコーチング ほか

【アントレプレヌールシップ系】

ファミリービジネスの経営、グローバル・ベンチャー企業の創出と経営、新事業開発のアプローチ ほか

【グローバルビジネス系】

グローバル経営、グローバルビジネスのマネジメント ほか

【アカウンティング系】

戦略的マネジメント・コントロール、財務分析と財務管理、戦略的業績評価と会計 ほか

【ファイナンス系】

M&A戦略、証券経済論、ベンチャー・ファイナンス、エフェクチュエーション・ロジックとコーポレート・ベンチャー・キャピタル(CVC) ほか

【技術経営系】

IT戦略マネジメント ほか

【研究技法・思考法系】

ビジネスファンリテーション、イノベーションのためのロジカルシンキング&ネゴシエーション ほか

【日英科目】

ビジネスのためのクリエイティブ・プロセスと倫理、デジタル化 (DX) 時代の企業価値創造 ほか

【海外開講科目】

Organizational Strategy of Japanese Companies in Asia ほか

※ 全ての科目は2単位です。



修了生メッセージ

答えのない問いに向き合い

考え抜いた経験を糧に実務での挑戦を重ねたい

コンサルティング業務に従事するなかで、企業のサステナビリティへの取り組みをいかに企業価値向上につなげるか、などの課題に関心が高まり、経営戦略のセオリーを体系的に学びたいと考えるようになりました。これまでにパートナーの海外転動への帯同や2度の育児産休により、同世代に比べて実務経験が浅いこともあり、なるべく短い期間で目標に向けて集中的に勉強したいとの思いからWBSの1年制総合プログラムを選びました。

所属した池上先生のゼミは、毎回圧倒されるほどのスピード感と内容の濃さで、事前準備も含めて手の抜けない場でした。ゼミ生の興味関心が反映された研究論文発表などを通して、今まで接点のなかった異業種の実態を知る貴重な機会にもなりました。自分で問いを立て、自分で検証し、自分で結論を書くという論文執筆の経験から学んだ、「答えのない問い」へのアプローチ方法は、実務にも活きて感じています。ゼミの仲間とビジネスケースコンペティションに出場し、一人ではかなえられない成果を達成できたことも印象深く、こうした課外活動を通した経験や出会いの広がりも刺激的でした。

入学当時は0歳と2歳の育児中で、学業との両立に不安もありました。いざ飛び込めると、同じように時間的な制約のなかで勉学に励むクラスメイトも多く、支え合いながら最後まで乗り切ることができました。日々の課題に全力で取り組んだ濃密な1年を経て、以前とは見える景色が変わったとともに、いつでも安心して帰ってこれる場所が一つ増えた実感があります。

在学時の1週間のスケジュール

※在学時の時間割を掲載しています。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
8 : 50	1限 選択科目 計2コマ受講	必修コア科目 計2コマ受講	課題・レポート作成	必修コア科目 計2コマ受講	必修コア科目 計2コマ受講	家事・育児 課題・レポート準備	家事・育児 課題・レポート準備
12 : 20	3限 課題・レポート作成	選択科目 計2コマ受講	グループワーク	グループワーク	選択科目 計2コマ受講	選択科目 計2コマ受講	授業の復習・予習
	4限 グループワークの準備・発表準備		課題・レポート作成				
18 : 40	5限 家事・育児 課題・レポート準備	家事・育児 課題・レポート準備	家事・育児 課題・レポート準備	課題・レポート作成	課題・レポート作成	家事・育児 課題・レポート準備	家事・育児 課題・レポート準備
21 : 35	6限 課題・レポート準備			選択科目 計2コマ受講	ゼミ 計2コマ受講		
	7限						
24 : 00	グループワークの準備・発表準備	課題・レポート作成	授業の予習	授業の予習	ゼミ懇親会	課題・レポート作成	課題・レポート作成

相馬 智帆 さん

2025年3月修了

2014年一橋大学経済学部卒業。メガバンクに入社し中堅・中小企業向けの法人営業に携わる。現在は株式会社AGSコンサルティング／AGS税理士法人に在籍し、新規顧客への営業やサステナビリティ分野のコンサルティング業務などに従事している。2024年4月にWBSに入学。池上重輔教授の「経営戦略と市場創造」ゼミに所属。2025年3月修了。

修了生メッセージ

理論と実務の両方を学び身につけた

思考のプロセスは実務に直結して活きている

入社から一貫して住宅営業に携わり、住宅事業について理解を深める一方で、それ以外の事業や他業界の動き、ビジネス全般に関する知識が不足しているという課題意識がありました。これまでの業務経験を整理し、体系化してビジネススキルとして深めたいとの思いもありWBSを志望しました。

所属した杉田ゼミでは、企業変革の考え方を修得していく過程で、目的意識を明確に持って物事に当たる大切さなど、仕事の範疇にとどまらない価値ある学びを得ることができました。杉田先生の幅広い人脈を介して多くの経営者との対話の機会もいただき、本質的に何が重要なのか、自分が本当にやりたいことは何なのかを考え続けた1年でした。また「新事業開発のアプローチ」の授業では、企業を訪問して経営層へ直接インタビューを行い、その内容を踏まえてグループで議論し考察を深めたことも記憶に残ります。WBSの科目は、教授からレクチャーを受けるだけでなく、ゲスト講演や学生同士のディスカッション、グループワーク等、多様なスタイルで展開されていることも、幅広いスキルの獲得に結び付いたと実感しています。

WBSで理論と実務の両側面から学びを深められたことや、知識だけでなく思考のプロセスを身につけられたことは、会社全体の経営方針の策定に関わる現在の業務に直結して活きています。常に学び続ける姿勢や意欲も備わりました。人生の転機となるような密度の濃い1年をともに走り抜け、気兼ねなく何でも話せる仲間とのつながりを得たことは最大の財産だと感じます。

小野 寛也 さん

2024年3月修了

2015年慶應義塾大学経済学部卒業。野村不動産株式会社に入社し、住宅事業本部で新築分譲事業の企画・販売・現場運営に携わる。2023年4月にWBSに入学し、杉田浩章教授のゼミに所属。不動産事業におけるブランドマネジメントをテーマに研究論文を執筆。修了後の2024年4月より経営企画部にて経営戦略の策定業務等に従事している。



夜間主MBA

日本語 2年〔4月入学〕

マネジメントの総合能力に加え自身の「強み」となる得意領域を手に入れる

働きながら、今後のビジネスパーソンに求められるジェネラルマネジメントの広範な知識を学べるプログラムです。2年次からゼミに所属。独自の「強み」を獲得します。

総合能力+αを手に入れる高密度プログラム

働きながら学べる、平日夜間および土曜日開講の2年制プログラムです。ジェネラルマネジメントについて幅広く学びながら、ゼミ等を通して自身の「強み」となる得意領域を構築します。授業を通じて、知識はもとより、ともに学ぶ仲間との強いつながり、確かな人脈を得ることも可能です。そして、2年次に移行する際にゼミ選考が行われ、その結果ゼミの配属が決定されることになります。ゼミにおいては専門領域の深掘を行い、最終的にプロジェクト・ペーパーをとりまとめて発表を行います。このように夜間主MBAは広範な知識と専門性をバランスよく追究したい方に最適なプログラムと言えます。

2026年度開講ゼミ（予定）

入学後に選択し、2年次に履修します。

浅羽 茂 教授	戦略構想力
池上 重輔 教授	競争戦略と市場創造戦略
伊藤 敬介 客員教授	アセット・アロケーション
イネステーラー 笠 章子 教授	DX、グローバル化の中の企業価値創造
入山 章栄 教授	世界最先端の経営学とビジネスの実践知
薄井 彰 教授	会計制度の経済分析
内田 交謹 教授	コーポレート・ファイナンス／ガバナンス
及川 直彦 客員教授	デジタル・イノベーションとマーケティング
長内 厚 教授	イノベーション戦略
川上 智子 教授	サステナブル・マーケティングと価値創造
菅野 寛 教授	経営戦略とオペレーション戦略
木村 達也 教授	マーケティング・マネジメント
斉藤 賢爾 教授	ブロックチェーンと分散ファイナンス
佐藤 克宏 教授	戦略とファイナンス
柴崎 曉 教授	金融法務事情
澁谷 寛 教授	デジタル環境下の消費者行動
杉浦 正和 教授	人材と組織
杉田 浩章 教授	市場創造とトランスフォーメーション
鈴木 一功 教授	コーポレート・ファイナンス実証分析
竹内 規彦 教授	組織行動
竹原 均 教授	ポートフォリオ・マネジメント
田村 泰一 准教授	経営戦略と新規事業マネジメント
鶴谷 武親 客員教授	企業経営と社会変革
中里 大輔 教授	コンピューテーション・ファイナンス
西出 勝正 教授	マーケット・マイクロストラクチャー
西山 茂 教授	企業価値の創造と管理
沼上 幹 教授	戦略と組織のダイナミック・インタラクション
根本 直子 教授	ESG 投資と企業価値
長谷川 博和 教授	アントレプレナーシップと事業創造
本田 桂子 教授	企業価値とサステナビリティ・コーポレートガバナンス
樋原 伸彦 准教授	エフェクチュエーション×ファイナンス
牧 兼充 准教授	サイエンスに基盤をいたイノベーション実践

* 開講ゼミは変更となる可能性があります。

授業開講時間はP.39をご参照ください。

プログラムコーディネーター 浅羽 茂 教授

夜間主MBAプログラムは、WBSのなかで最も多くの学生が学んでいるプログラムです。WBSは日本で最も元気のいいビジネススクールですが、そのWBSを躍動させるエンジンと言っても過言ではないでしょう。学生のバックグラウンドは多様でし、学ぶ目的も様々です。共通しているのは、働きながら平日夜と土曜に学校に通って講義を受け、深夜・早朝のグループワークを厭わないことです。それを可能にする知的好奇心とエネルギーの強さとも言えるでしょう。1年目は、コア科目を中心に多様な科目を履修し、WBSが誇る第一級の教授陣から経営に必要な知識、分析力を叩き込まれます。2年目は、特定のテーマや領域を掲げるゼミに所属し、その分野のトップ教員から濃密な指導を受け、専門的な知識や深い洞察力を身につけ、それらをフルに動員して、論文を仕上げていきます。このプログラムの修了時には、経営リテラシーや問題発見・解決能力だけでなく、共に学んだ多様な仲間という生涯の財産を手に入れることができるでしょう。是非、夜間主MBAプログラムで、リーダーへの道を歩み出してください。

2年間のスケジュール

〈1年目〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学	春学期前半	春学期後半	夏休み	秋学期前半	秋学期後半	春休み					
	科目履修(6科目程度)		夏期集中講義(1~2科目)		科目履修(6科目程度)		冬期集中講義(1~2科目)				
MBAキックオフ講座									ゼミ選考・配属先決定		

〈2年目〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春学期前半	春学期後半	夏休み	秋学期前半	秋学期後半	春休み						
科目履修(5科目程度)		夏期集中講義(1~2科目)		科目履修(1科目程度)							
ゼミ			ゼミ								
論文のための文献研究、調査、論文執筆									論文提出・公開審査会		

履修例

(1コマ=100分)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
8:50						計2コマ受講	
12:20	勤務 オフィスを定時上がり	勤務 オフィスを定時上がり	勤務	勤務 移動時間に発表資料の作成	勤務 オフィスを定時上がり	空き時間にグループワーク	
18:30	計2コマ受講	計2コマ受講	翌週の授業の予習などの準備	発表資料の準備	計2コマ受講(ゼミ)	課題を仕上げる	翌週の授業の予習などの準備
24:00	授業の予習やレポート作成	授業の予習やレポート作成			クラスメイトとグループワーク		

※ 夜間主MBAのゼミは、金曜夜間または土曜午前中に設置される予定です。

■ 修了要件

2年以上在学して、50単位以上を一定の成績平均点を満たした上で修得し、プロジェクト研究および研究指導を経てプロジェクト・ペーパーを執筆します。論文審査および試験に合格した者に対して、「経営管理修士(専門職)」の学位が授与されます。

必修コア科目	選択科目			専門研究			計
	日英科目	海外開講科目	一般選択科目	プロジェクト研究	研究指導	プロジェクト・ペーパー	
16	20 ～			4	合格	2	50

※ 早稲田大学内の他研究科や交換留学先の海外大学院に設置されている科目の単位は、審査の上、修了必要単位に算入できる場合があります。

※「研究指導」は単位付与はありませんが、所定の指導を受け合格する必要があります。

※「プロジェクト研究」および「研究指導」は2年次以降配当となります。

■ 科目紹介 (2026年度予定)

必修コア科目

リーダーシップ、マーケティング、ファイナンス、ビジネス会計、人材・組織、経営戦略、ビジネス統計、技術・オペレーションのマネジメント

選択科目

【総合経営系】

会社法、事業計画策定、サステナビリティ・マネジメント、脱炭素時代における企業経営戦略 ほか

【マーケティング系】

顧客関係マネジメント、サービス・マネジメント、マーケティング・リサーチ、消費者行動論、マーケティングと新市場創造 ほか

【人材・組織系】

戦略的マネジメントコントロール、グローバル人材マネジメント、組織における人間行動 ほか

【アントレプレヌールシップ系】

スタートアップ・ファクトリー、ファミリービジネスと国際化、ファミリー企業の経営戦略 ほか

【グローバルビジネス系】

グローバル経営、グローバルビジネスのマネジメント、Cross-Cultural Management ほか

【アカウンティング系】

財務分析と財務管理、戦略的マネジメント・コントロール、会計から見た企業経営 ほか

【ファイナンス系】

金融機関マネジメント、コーポレート・ファイナンス、フィンテック・金融革新とインターネット、不動産とファイナンス ほか

【技術経営系】

IT戦略マネジメント、技術と戦略 ほか

【研究技法・思考法系】

イノベーション研究のための定量分析、イノベーションのためのロジカルシンキング&ネゴシエーション、実践事例研究、プロンプトエンジニアリング・生成AIの応用 ほか

【海外開講科目】

Organizational Strategies of Japanese Companies in Asia ほか

※ 全ての科目は2単位です。



在学生メッセージ

年代も立場も多様な学生同士の学び合いを通し 視野の広がりを実感

海外営業の本務と並行して、労働組合の支部運営に携わっています。小規模ながらも組織をリードする立場になり、従来の業務ではあまり関わりのなかったマーケティングやリーダーシップ、組織論といった知識の重要性を実感しました。加えて、業務の枠にとらわれず、前例のない課題に柔軟に対応できる力を身につけたいと考え、ビジネススクールへの進学を決めました。

講義で学んだ理論を、より具体性をもってイメージしたり、自社に当てはめた時に生じるギャップの原因は何かを掘り下げて考えたりと、理論と実践の反復を通して理解を深められることは、働きながら学ぶ良さだと感じます。授業の時間のみならず、同期生との自主的な勉強会も有意義な学びの場になっています。「ビジネス・リーダーシップ」の受講生同士の勉強会では、どのようなリーダーがどのような状況で求められるのか、といったテーマについて、年代や業務内容、立場も多様な仲間と議論を重ね、視野が広がりました。

経営学の学びを通して世の中の解像度が上がった実感があります。自社の発表や日常のニュースなどについて、どのような背景や理由がそこにあるのかを立ち止まって考える機会が増えました。正解のないなかで多角的に物事を考える習慣が身につく、また自分なりのリーダーシップのスタイルも意識するようになりました。将来的にはより俯瞰的な視点で事業全体を捉え、関係者と連携しながら成長を牽引していくような仕事に挑戦したいと考えています。WBSでの経験はそうした挑戦への確かな土台になると感じています。

1 週間のスケジュール

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
8:50						必修コア科目 計2コマ受講	
12:20	勤務	勤務	勤務	勤務 (定時上がり)	勤務	選択科目 計2コマ受講	図書館で 授業の復習・予習
18:30	勤務	勤務	勤務	勤務	勤務	必修コア科目 計2コマ受講	同期生と財務会計の勉強会
22:00	授業の事前・事後課題 レポート作成	授業の事前・事後課題	授業の事前・事後課題	財務会計の宿題	授業の事前・事後課題	授業の懇親会	家事など
24:00							

小林 雪花 さん

2024年4月入学

2018年早稲田大学国際教養学部卒業。三菱ケミカル株式会社に入社し、汎用化学製品のグローバルサプライチェーン管理や、フィルム製品の海外営業などに従事。並行して非専従で労働組合の執行委員を務め、支部運営を担っている。2024年4月にWBSに入学し、長内厚教授の「イノベーション戦略」ゼミに所属。

修了生メッセージ

修了後も継続する豊かな人的ネットワークも WBSの素晴らしいカルチャー

長く研究職のキャリアを歩んできましたが、組織を管理する立場になるにつれ、企業価値向上につながる研究活動を実現するには、経営全体を俯瞰する戦略的思考が不可欠だと痛感するようになりました。高いレベルで経営学を体系的に学べるカリキュラムに魅力を感じてWBSに入学。戦略構想力を重視する浅羽ゼミを選びました。異なる業界に身を置く同期生との実践的な議論からは毎回得るものが多く、多様な視点を持つ重要性を学びました。プロジェクト研究論文では「学術論文は製薬企業の業績に貢献するか?」をテーマに、仮説構築からデータ収集、統計的分析まで、WBSで培った知識を総動員し、理論と実務をつなげる力を高められた手応えがあります。

2年間の学びを経て、経営判断の背景にある論理を推測し、経営層や社内外のステークホルダーに対して説得力のある説明や提案を行えるようになったことは大きな変化です。研究活動を経営的視点で捉え直し、意思決定の質を高める上で、得た知識とスキルは大いに活きています。将来的には医療やヘルスケアの分野において社会貢献できる経営者を目指していく考えです。

WBSには年齢や業界の枠を超えて志の高い多様な仲間が集まっています。在学中に起業や転職など新たなキャリアに挑戦する人もいて、日々刺激を受けていました。ゼミを通じた縦のつながりは修了後も継続しており、在学中だけに留まらない豊かなネットワークを持てることもWBSの素晴らしいカルチャーだと実感しています。

吉村 祐太 さん

2025年3月修了

東京大学大学院医学系研究科で博士(医学)の学位を取得。大阪大学の研究所で癌の転移メカニズムに関する研究に従事した後、外資系製薬会社などを経て、エーザイ株式会社に入社。現在はメディカル本部長(執行役員)を務める。2023年4月にWBSに入学し、浅羽茂教授の「戦略構想力」ゼミに所属。2025年3月修了。



International MBA

英語 2年 [9月入学]

視線の先には「世界」が。 深い知識と国際的センスを備えた グローバルリーダーを育成

これからのビジネス界では、日本という国だけを注視する狭い意識は通用しません。International MBA プログラムでは日々さまざまな形で「世界」と接することを通し、豊かな国際性、世界で通用する実践力を高めていきます。

豊かな国際性を備えた MBA ホルダーに

英語を使ってフルタイムで2年間学び、グローバルマインドを備えたビジネスリーダーとなることを目指すプログラムです。本プログラムでは、各国からの留学生を積極的に受け入れ、日常的に「世界」と接することのできる環境を構築しています。海外で行う集中授業なども提供しています。2年次から所属するゼミでの成果は、プロジェクト・ペーパーとして集約しており、グローバルな環境で学位を取得することが可能です。

* 本プログラムは平日昼間の授業を前提としたプログラムとして設計されているため、就業しながら通学することを想定しておりません。

■ 科目紹介 (2026年度予定)

必修コア科目

Leadership, Marketing, Finance, Business Accounting, Management of People and Organizations, Corporate and Business Strategy, Business Statistics, Technology & Operations Management

選択科目

Business Ethics, Business Strategy in the Digital Age, Business in the Natural Environment, Marketing and Social Innovation, Advanced Brand Management, Strategic Human Resource Management, Strategy of Family Firms, Dialogue with Top Entrepreneurs in Japan, Global Entrepreneurial Finance & Family Enterprises, Investment and Turnaround Management, FinTech - Financial Innovation and the Internet, Strategic IT Management, DATA SCIENCE FOR MANAGEMENT, Organizational Strategies of Japanese Companies in Asia, ほか

※ 全ての科目は2単位です。

2026年度開講ゼミ (予定)

入学後に選択します。

浅羽 茂 教授	Management Strategy and Industry Evolution
入山 章栄 教授	Frontier of Entrepreneurship, Innovation, and Management
薄井 彰 教授	Economic Analysis of Accounting Institutions
川上 智子 教授	Sustainable Marketing and Innovation
菅野 寛 教授	Strategy in Practice
木村 達也 教授	Marketing Management
COAD, Alex 教授	Firm growth, innovation and industry dynamics
斉藤 賢爾 教授	Digital Transformation for Public Good
佐藤 克宏 教授	Strategy and Finance
柴崎 暁 教授	Financial Law and Practice
清水 信匡 教授	Performance Measurement & Control system for Implementing Corporate Strategy
張 明恩 准教授	Risk Management
西山 茂 教授	Creation and Control of Enterprise Value
東出 浩教 教授	Entrepreneurship for Happiness
堀江 徹 教授	Globalization and Business Leadership
LAU, David 准教授	Management of Numbers in Business

* 開講ゼミは変更となる可能性があります。

授業開講時間はP.39をご参照ください。

プログラムコーディネーター 入山 章栄 教授



WBSは日本を代表するビジネススクールとして広く認知されています。多くの方は日本語プログラムを思い浮かべるかもしれませんが、実は当スクールには、「International MBA」(IMBA)という英語プログラムがあり、当校のフラッグシッププログラムとして国際的に高い競争力を誇っています。IMBAプログラムは世界20カ国以上から集まった、1学年が約45名程度の学生で構成される、2年間の全日制プログラムです。日本人の方にも広く門戸が開かれており、これまでも日本人学生が本プログラムでMBAを取得してきました。海外に留学することには大きな価値がありますが、同時に「日本を離れることへの不安」「周囲に日本人が少ないことへの不安」、そして「非常に高額な費用」というハードルも存在します。その点、WBSのIMBAプログラムは東京の早稲田大学のキャンパスで受講でき、他の日本語プログラムの学生との交流の機会も豊富にあります。世界中から集まった優秀な人材と東京で深く交流し、視野を広げながら学べる環境は、日本では非常に希少です。ぜひこのユニークな環境でMBAの取得を目指すことをご検討ください。

早稲田 -ESCP ダブルディグリー制度

東京とパリ 二つの都市で学び、二つの学位を取得

WBS (英語) 1年～
ESCP (英語) 1年

ESCP ヨーロッパ・ビジネススクール Ecole Supérieure de Commerce de Paris

ESCPヨーロッパ・ビジネススクールは、旧パリ高等商業学校を母体とし、その歴史は19世紀初頭までさかのぼる、世界でも古い歴史を持つビジネススクールです。商業系グランゼコール・トップ3の一つであり、マルチキャンパス・ビジネススクールの最初のモデルとして、ヨーロッパ6都市(パリ・ロンドン・ベルリン・トリノ・マドリッド・ワルシャワ)で開校しています。学生の出身国は約90カ国、提携校も世界約40カ国約100大学に及び、留学生比率が約40%と非常に高いのも特長です。また、海外のトップスクール約40校とダブルディグリー協定を締結し、EQUIS、AACSB、AMBAの3つの国際認証を受けている数少ないトリプル・クラウン校の一つです。当研究科における学びの後、パリの中心地に位置するESCPキャンパスで学びます。所定の修了要件を満たした学生には二つの学位が授与されます。



〈選考〉

International MBAプログラム在学生の中から、学内選考を経てESCPへの推薦者が決まります。その後、両校から選出された委員で構成される選考委員会により、本学での成績評価(または入学時の成績)、インタビューの評点等に基づいて選考が行われます。

〈費用〉

参加学生は早稲田大学に学費等を支払うことで、ESCPでの授業料は免除されます。
※留学先での生活費や住居費、渡航にかかる費用、早稲田大学指定の海外旅行保険加入および現地保険料、ESCP学籍登録料(2年間分)等は、参加学生の自己負担となります。

〈取得学位〉

・早稲田大学 経営管理修士(専門職)
(Master of Business Administration, Waseda University)
・Master in Management Grande École, ESCP Europe

■ 修了要件

2年以上在学して、50単位以上を一定の成績平均点を満たした上で修得し、プロジェクト研究および研究指導を経てプロジェクト・ペーパーを執筆します。論文審査および試験に合格した者に対して、「経営管理修士(専門職)」の学位が授与されます。

必修 コア科目	選択科目			専門研究			計
	日英科目	海外開講 科目	一般選択 科目	プロジェクト 研究	研究指導	プロジェクト・ ペーパー	
16	4 ～		8 ～	4	合格	2	50

※ 早稲田大学内の他研究科や交換留学先の海外大学院に設置されている科目の単位は、審査の上、修了必要単位に算入できる場合があります。

※「研究指導」は単位付与はありませんが、所定の指導を受け合格する必要があります。

※「プロジェクト研究」および「研究指導」は2年次以降配当となります。

Student's Voice



Building a Holistic Business Foundation at Waseda Business School

ヴィストロ ジャニン

2024年9月 IMBA 入学

I chose to pursue an International MBA at Waseda Business School because as a recipient of the MEXT Scholarship, I believed doing so would be maximizing the opportunity given to me. This is because Waseda Business School is an institution where the professors are a mix of distinguished academics and worldly industry professionals. In addition, with the International MBA Program being an English-taught program in Japan, students are businesspeople from diverse backgrounds. Learning both alongside and from these people have helped me cultivate a more holistic understanding of business. Furthermore, the unique zemi structure allows students to focus on a discipline and further their knowledge and skills in it. Overall, I am confident that Waseda Business School and the International MBA Program is providing me with the knowledge, foundations of the skillsets, and network I need to fulfill my personal and professional goals.

MSc in Finance

英語 2年 [9月入学]

基礎から最先端まで ファイナンスを体系的に学び 世界に通用する金融人材に

ファイナンスに関する基礎的な知識から高度な専門知識、
先端的な理論までを体系的に修得する英語プログラムです。
世界に通用するファイナンスのプロフェッショナルを養成します。
修了者にはファイナンス修士(Master of Science in Finance)
が授与されます。

グローバルに活躍するファイナンスのプロフェッショナルを養成

ファイナンス理論をコアとして、企業活動等において必要となる知識・技能を備えたグローバル人材を育成します。ファイナンスに関する基礎的な知識から高度な専門知識、先端的な理論までを体系的に修得できるカリキュラム編成となっています。また、選択科目ではInternational MBAプログラムの科目の一部を履修できるなど、ビジネスについての知識を併せ持ったファイナンスのプロフェッショナルとなることを目指します。

科目紹介 (2026年度予定)

必修コア科目

Statistics, Mathematics for Finance, Microeconomics, Equity Investments, Corporate Finance, Econometrics, Fixed Income Investments

選択必修コア科目

Advanced Risk Management, Asset Pricing, Advanced Microeconomics, Comparing Financial Systems, Derivatives Modeling, Derivatives, Exotic Options and Insurance, Management of Financial Institutions, Corporate Governance, Mathematical Finance, Real Estate Finance, Risk Analysis, Financial Econometrics, Sports Finance: An Introduction, Theory of Accounting Choices, Time Series Analysis, Applied Corporate Finance, Microeconometrics, Corporate Finance Theory, Japanese Corporate Finance, Financial Engineering

※ 全ての科目は2単位です。

2026年度開講ゼミ (予定)

入学後に選択し、第2セメスターから履修します。

COAD, Alex 教授	Hot Papers in Finance
鈴木 一功 教授	Empirical Analysis of Corporate Finance
竹原 均 教授	Portfolio Management
張 明恩 准教授	Risk Management
中里 大輔 教授	Applied Mathematical Finance
根本 直子 教授	Topics in Financial Markets/ESG/SDGs
樋原 伸彦 准教授	Entrepreneurial Finance
LAU, David 准教授	Accounting and Finance

* 開講演習科目は変更となる可能性があります。

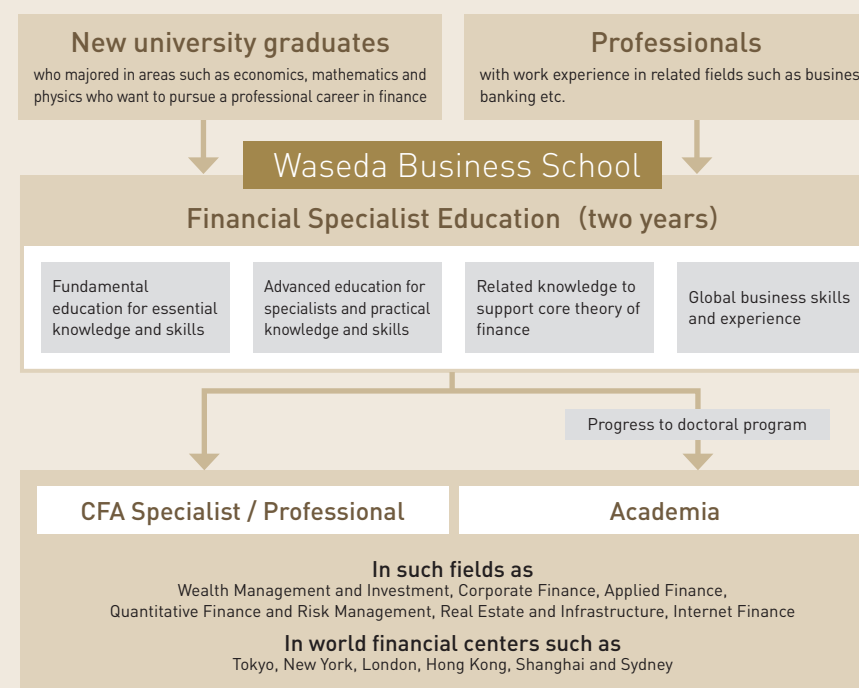
授業開講時間はP.39をご参照ください。

プログラムコーディネーター 張 明恩(CHEUNG, Ming Yan William) 准教授



Master of Science in Finance at Waseda Business School (WBS) is an English-based program to develop successful financial professionals. Building upon the long history of Waseda University's business education, dating back to 1904, our two-year program provides graduates with a solid understanding of the quantitative methods and analysis which are vital in the financial industry. Why learn finance in Japan? Post-war economy of Japan has seen intense ups and downs, from the boom in the 80s and bust in the 90s, to decades of economic slump and the growth after COVID. This history has produced lessons of unique value. Takeaways from these lessons in the context of modern finance theories encompass a unique perspective and provide students with successful learning experiences that we aim to achieve. We truly look forward to welcoming students from all over the world. We are confident that our graduates will develop successful careers and make a difference in the world of finance.

Pathways



修了要件

2年以上在学して、50単位以上を一定の成績平均点を満たした上で修得し、演習および研究指導を経て専門職学位論文を執筆します。論文審査および試験に合格した者に対し、ファイナンス修士(専門職)「Master of Science in Finance」が授与されます。入学時期は9月とし、修了に必要な授業、演習は全て英語のみで行います。

必修 コア科目	選択必修 コア科目	選択科目		専門研究			計
		日英科目 または 海外開講科目	一般選択 科目	演習	研究指導	専門職 学位論文	
14	16 ~	任意		6	合格	4	50

※ 早稲田大学内の他研究科や交換留学先の海外大学院に配置されている科目の単位は、審査の上、修了必要単位に算入できる場合があります。

※ 演習は、1年次の第2セメスターから履修します。

※ 「研究指導」は単位付与はありませんが、所定の指導を受け合格する必要があります。

※ 「研究指導」は2年次以降の配当となります。

Student's Voice



Create Your Success Story

リンカーン レイフ

2023年9月 MSc in Finance 入学

The unique combination of industry know-how and academic acumen held by WBS faculty cultivated excellence from solid foundations. Careful attention is placed on fostering students' connections to industry and academia, forming a cornerstone of the curriculum across MSc Finance courses. It is within this distinctive positioning that prospective students can look forward to gaining a strong foothold within the ever-changing financial industry. This is further supported not only through the long-lasting relationships you will build among your professors and classmates but also through the network available through interactions with in-industry guest speakers, the WBS alumni network, and unique opportunities offered by the careers office. WBS students will find themselves well-equipped to provide a competitive edge of their own design upon graduation.

早稲田-ナンヤン ダブルMBA

英語 14か月〔7月入学〕

国際派ビジネスパーソンとしての能力を 最大限に伸ばすダブルディグリープログラム

日本とシンガポール、二つのトップビジネススクールがパートナーシップを組むことで
実現したプログラム。WBSとシンガポール国立ナンヤン理工大学ビジネススクールで学び、
両校のMBA学位を取得することができます。

シンガポールと東京で学び、MBAをダブル取得

アジアのビジネス拠点であるシンガポールと東京で学び、国際派ビジネスパーソンとしての能力アップを目指す14か月間のプログラムです。日本企業を含む大手多国籍企業の幹部として、グローバル、特にアジア地域で活躍する人材を育成していくことが目的であり、その大きな特徴は、ダブルMBAプログラムとして、ナンヤン・早稲田両校の学位を取得できる点です。すべての授業が英語で行われ、コア科目は主にシンガポールの国立ナンヤン理工大学 (NTU) のビジネススクールで、専門科目は主にWBSで提供されます。WBSで学ぶ第3学期(4～8月)にゼミを実施し、その成果は研究論文としてまとめることが求められます。シンガポールは、アジアにおいて「貿易」「IT」「金融」「バイオ」などの中心的機能を集積し、「総合的なビジネスのハブ」を実現しています。アジア経済の中心の一つとなったシンガポールで学習することで、アジアでのビジネスネットワークの獲得も期待できます。

【入学選考について】

本プログラムはWBSとNTUが共同で入学選考を実施します。出願資格や必要書類等の詳細はWebサイトにて確認してください。なお、出願期間は10月～翌年3月です。

3つの 特色

1. アジアトップクラスのナンヤン・ビジネススクールとの連携
2. 世界の学生とのネットワーク
3. ビジネスと直結した実践的カリキュラム

MBA 世界トップ100
ナンヤンビジネススクール
第22位
(Financial Times 2025)

2024 世界国際競争力ランキング
シンガポール
第1位
(IMD World Competitiveness Ranking 2024)

カリキュラム

履修場所の講義区分が変更になる場合があります。

履修場所	講義内容	学期
ナンヤン 理工大学 	コア科目	1学期 (7月末-10月)
	コア科目	2学期 (11-2月)
	必修科目	
	専門科目	
早稲田大学 	コア科目	3学期 (4-8月)
	専門科目	

予約型(入学前)給付奨学金

ダブルディグリー取得をめざす日本人学生を対象とした奨学金制度です。入学前に採用が内定します。

奨学金名	経営管理研究科専門職奨学金
種別	給付
奨学金額	最大200万円(単年度)
出願資格	ダブルディグリープログラム志願者で、かつ、日本人等*

* 在留資格が「永住者」「定住者」「日本人(永住者)の配偶者、子」の方も対象になります。

費用 S\$ 75,000*

※ 2025年7月現在
※ シンガポールドル
※ GST、シンガポール及び日本での住居費や生活費は含まれません。
※ 詳しくはNTUのWebサイトでご確認ください。

WBS が提供する特別授業等

寄附講座・提携講座

早稲田大学では、教育研究の質的向上・発展に寄与することを目的として、学術研究提携等を行っています。その一貫として、当研究科では、寄附講座及び提携講座を設置しています。産学連携を通じ、当研究科が有する学識や知見と、企業等のビジネス経験を融合し、関係分野の教育・研究の更なる発展を図っています。

2025年度寄附講座

グローバル・ベンチャー企業の創出と経営-起業家の価値創造戦略	一般財団法人大川ドリーム基金 寄附講座
--------------------------------	---------------------

2025年度提携講座

持続成長戦略論-グローバルリーダーの社会課題解決の実践-	株式会社ICMG 提携講座
スタートアップ・ファクトリー	ウエルインベストメント株式会社 提携講座
パブリック・リレーションズの理論と実践	株式会社日本パブリックリレーションズ研究所 提携講座
グローバル人材マネジメント	マーサージャパン株式会社 提携講座
感性マーケティング論	株式会社エボック社 提携講座

科目等履修生制度

当研究科の修了生及び企業派遣の方を対象に科目等履修生制度を設置しています。

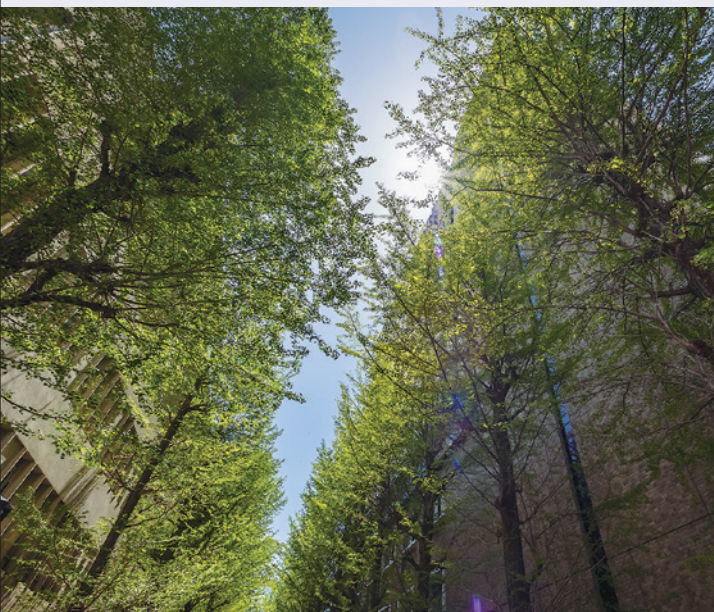
これは、当研究科が指定する授業科目の中から、学びたい科目を各学期1科目履修することができる制度です。

詳細は当研究科事務所へお問合せください。



グローバルネットワーク

当研究科では、早稲田大学が研究者・学生の交換協定を結ぶ約600の海外の大学・教育研究機関に加え、海外トップスクール41校とも学生交換協定を締結しています。セメスター単位の交換留学に加え、夏季休業期間等を実施される海外大学での短期集中コースという選択枝もあります。国内ビジネススクールとしてはもっとも活発に交換留学が実施されている当研究科ですが、「世界」とつながる環境づくりは、それだけにとどまりません。世界中から集う、今後各国のビジネス界をリードするであろう多くの外国人正規学生や交換留学生と授業の内外で接することにより、多様な価値観を肌で実感し、異文化コミュニケーション能力を養うことができます。ビジネス知識に加えて国際感覚も磨き上げ、広く世界で通用する発信力・交渉力を身につけるため、当研究科が誇るグローバルネットワークを活用してください。



Global Network

箇所間協定留学

世界基準で鍛えた課題解決力が、キャリアを切り開く原動力に

松浦 海音
2025年3月 全日制プログラム修了

ESCPでの留学は、国際的な視座と多角的な思考力を養う大きな機会となりました。留学中は、イノベーションマーケティングやカスタマーバリューマネジメントなど、WBSでは履修していなかった分野に挑戦し、理論と実践の両面からビジネスを捉える難しさと面白さを実感しました。特に印象に残っているのは、授業課題で、欧州企業で実際に行われている定量的な分析に取り組み、すべての提案に明確な数値根拠を求められたことです。このような実践的な経験を通じて、論理的に状況を分析し、根拠に基づいて最適な解決策を導き出す課題解決力を磨くことができました。また、多様なバックグラウンドを持つ学生たちとの議論を重ねる中で、柔軟で広い視野も養われました。この留学経験は、キャリアを主体的に切り拓くための大きな原動力となりました。

箇所間協定留学

コンフォートゾーンを超える経験を求めて

長島 淳史
2025年3月 夜間主プログラム修了

WBSの1年目が終わるころにはWBS生活にも慣れ、少し情性を感じ始めていることに問題意識を抱いていました。コンフォートゾーンを超えて、より挑戦できる場所に身を置きたいという思いと、もともと自身のバケットリストに海外留学が入っていたことから、IIMB(インド経営大学院バンガロール校)への留学を決めました。IIMBを選んだのは、インドが今後の世界経済・国際政治において存在感を増すことが確実な国(既に人口は世界1位で、GDPも日本を抜き世界4位になると想定)であり、かつ、自分にとって未知の国だったからです。インドでは、WBSでは経験できない自分がマイノリティになるという体験ができ、つらさが70%、楽しさが30%ほどでしたが、あえて大変な経験をしに行くという目的は達成できたと思います。皆さんも、WBSの機会を活用して、普段できない留学という体験をしてみたいいかがでしょうか。

Diversity, Equity & Inclusion

「Respect each other, respect equality and diversity」は早稲田大学が掲げるダイバーシティ推進宣言の根幹をなす理念です。WBSではこの考えに基づき、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、宗教的信条、年齢、社会的背景など、あらゆる属性にかかわらず、それぞれの個性と能力が尊重され、活かされる環境づくりを積極的に進めています。

多様性を受容し、違いを力に変えることは、グローバル社会におけるビジネスリーダーにとって不可欠な資質です。WBSでは、学生自身がそのような姿勢を体得し、将来の社会において多様性を促進する存在になることを目指しています。



早稲田大学のダイバーシティ推進体制

早稲田大学では全学的ダイバーシティ推進の実行主体であるダイバーシティ推進室の他、学生支援を実行する組織として、スチューデントダイバーシティセンターがあり、そこにGSセンター、アクセシビリティ支援センター、ICCが設置されています。早稲田大学では、以下の4つの機関を中心にダイバーシティ推進を組織的に展開しています。

ダイバーシティ推進室

全学的な戦略を担い、制度設計や意識啓発の取り組みを行う中核的存在です。

GSセンター(Gender and Sexuality センター)

ジェンダーやセクシュアリティに関する支援、情報発信、相談対応などを行い、全国の大学でも先駆的な存在です。

アクセシビリティ支援センター・ICC(異文化交流センター)

障がいのある学生への合理的配慮の提供、留学生や国際交流のサポートを通じて、キャンパス全体での多様性尊重を促しています。

■ 学びと子育ての両立支援

早稲田大学では子育てと学業・研究の両立を支援するため、2011年より一時預かり託児室を学内に設置しています。家庭とキャリア、あるいは学問を同時に支えるこの制度は、ライフステージに応じた柔軟な学びのあり方を体現しています。(要事前登録・予約制)



一時預かり託児室

■ 障がいのある学生への包括的支援

「学びをあきらめない環境」を整えるために、キャンパス全体ではユニバーサルデザインを推進し、バリアフリー情報や「だれでもトイレ」、UD(ユニバーサルデザイン)マップを提供しています。WBSでは、入試時点からアクセシビリティ支援センターと連携し、試験や授業での配慮・サポートを個別に対応しています。

■ 多様なジェンダーへの理解と配慮

早稲田大学では、学生名簿の性別欄の廃止や、外見で性別を判断しない教職員への周知など、「見えない排除」を生まない仕組みづくりを進めています。GSセンターでは、性的マイノリティの学生への相談支援も充実しており、安心して学び・働ける環境が整えられています。

■ 学籍名の柔軟な運用

姓の変更が人生の選択に直結する中、早稲田大学では、所定の手続きにより旧姓での学籍登録が可能です。これは、旧姓を通じて社会生活を送る多くの人々への配慮として、在学中の各種書類や学位記にも適用されます。

WBSのDEIアクション

■ 多様な経営人材の育成は社会からの要請

多様なバックグラウンドを有する人材が活躍する社会の実現は21世紀社会の大命題であり、特にビジネスの第一線で活躍する人材の多様化は産業界の活性化やイノベーションの促進の上で不可欠とされています。WBSでは、このような社会からの要請を受け止めて、女性や外国籍の人材、また障がいのある方々

に対して高度なMBA教育を提供することを重要な使命と認識しています。既に学生の4割近くは女性であり、学生、教員とも外国籍の割合は国内のビジネススクールと比較して高くグローバルに開かれた環境を重視しています。さらに今後、教員のバックグラウンドの多様化にも取り組んでいるところです。

ダイバーシティ&インクルージョン教育 —カリキュラムとしてのダイバーシティ教育

■ ダイバーシティを学ぶ

WBSでは、2020年度より開講している「企業人のためのダイバーシティマネジメント」の講義を通じて、社会人学生が多様性にどう向き合い、組織内で実践していくかをディスカッション形式で学びます。毎回、現場で活躍する当事者・専門家を招き、現実の課題に触れながら深く考察する学びを提供しています。また、全学オープン科目における「ダイバーシティ関連科目」の履修も可能です。

■ ERSアワード

WBSでは2017年にERS(Ethics, Responsibility, Sustainability)スチューデントアワードを設置し、持続可能な社会に向けた実践的な研究や活動を支援しています。ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みも、まさにERSの根幹に位置づけられるものであり、多様な価値観を包含する学びの成果として、学生・修了生の活動が評価されています。

修生からの声



二宮 朋子 2018年3月 夜間主プログラム修了

妊娠中にMBAを目指し、複数のビジネススクールの説明会に行きました。管理職として使用している旧姓での入学を希望しましたが、「前例がない」と一言で済ませる学校が多い中、WBSは「やってみましょう」というスタンスだったため感銘を受けました。出産後4ヶ月で入学し、託児室をフル活用しました。土曜日など朝、子どもを預け、授業後に家族で大限庭園に集まり、ランチタイムを過ごしたり芝生で遊んだり出来たのも良い思い出です。

石川 寛和 2021年3月 夜間主プログラム修了

私は聴覚に障がいがあります。WBSは障がいを理由に学ぶ道を閉ざすことなく意欲があれば機会を与える土壌があります。講義においては手話通訳者や要約筆記者の派遣、音声認識アプリの活用などの情報保障を配慮して頂いたおかげで他の受講生と同じように意見を述べ、ディスカッションにも参加することができました。WBSでは障がいの有無は関係なく誰もが平等に学び、主体的に発言し成長する、そのような環境が整っています。



鹿熊 健 2024年3月 夜間主プログラム修了

障害のある姉と過ごした原体験を社会に活かしたい。でも何から始めてよいか分からなかった私にとって、WBSでの学びと仲間との対話、そして研究を通じて具体と抽象を往復する思考の訓練は、自分のキャリアを見つめ直す助けとなりました。その視座が、福祉×アートという新たな挑戦へと背中を押してくれました。

学生活動・ 修了生向けの活動

WBSでの学びや人脈は、講義・ゼミ活動に留まらず、在学中のプロジェクト活動、在学生による学生団体、同窓会組織と、入学から修了後も長く続いていきます。教員、先輩、後輩、同期との強固なネットワークはWBSのミッションの1つである“Dynamic Learning Community”を体現しており、われわれの大きな強みの一つです。このコミュニティに飛び込み、今後のキャリア形成に大いに活用していただきたいと思います。



サークル活動

WBSではWBS承認サークル他、多様な活動が行われており、所属プログラムやゼミを超えた学びや、コミュニケーションの場となっています。このような場を活用して人脈をさらに広げている学生もいます。

異文化交流イベント「iNight」

WBS公認学生団体のWBS3 (WBS Student Society) が中心となり、日本人学生と、外国人学生との交流を促進するイベント「iNight」を定期的に開催しています。多くの留学生が、こうしたイベントでの日本人学生との交流や、日本語科目等での学びを通じて、日本語の習得に励んでいます。このイベントは、日本人学生にとっても、英語でコミュニケーションをする貴重な機会となっています。



幅広いプロジェクト活動

授業の一環として、学内外の方をゲストで招きセミナーを開催したり、企業や非営利団体、行政とのパートナーシップによる課題解決型プロジェクトを行っています。



校友向けオンラインセミナー

2020年度からコロナ禍をきっかけに始めた「WBS 校友のため特別講義」と題したオンラインセミナーには、毎回約1,000名の申し込みが集まり、現在も継続して実施しています。時代に則したテーマを掲げて行われる議論はとても刺激的で、修了後も教員・在学生と学びあえる貴重な機会となっています。

同窓会組織「WBS 稲門会」

早稲田大学には「稲門会」と呼ばれる同窓会組織があり、WBS 修了生による「WBS 稲門会」は自主的な活動として在学生・修了生向けの様々なイベントを開催しています。この様な活動を通じて修了後も、人脈は続き、広がっていきます。

台湾 WBS 稲門会

地域稲門会として、WBSの修了生の多い台湾で「台湾 WBS 稲門会」を2020年に発足しました。台湾に住むWBS修了生が主体となって交流会イベント等を行っています。台湾のみならず、世界各地でWBSの修了生は活躍しています。



ビジネス・ファイナンス 研究センター

早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センターは、早稲田大学ビジネススクールと連携し、双方の教育・研究システムを一体化することで、ビジネス・ファイナンス分野の基礎的・応用的研究を通じて世界水準の研究成果を生産・発信し、教育の現場ならびに広く社会に還元することを目的としています。ノンディグリーのエグゼクティブ教育事業、企業・団体・外部研究機関との共同研究や受託研究などの研究活動、出版、講演、シンポジウムなどを多数展開しています。



エグゼクティブ教育事業

エグゼクティブ教育では、経営トップから若手までの階層別プログラム、個別企業のニーズに応えたカスタマイズ研修、個人が自己啓発を目的として参加できる講座など多数のプログラムを取り揃えています。

- **トップマネジメント研修** 【上場企業執行役員以上及びそれに準ずる企業の経営者】
- **EMBA Essence** 【上級幹部候補生（現職が部長職・上級課長職相当の方）】
- **エグゼクティブプログラム（企業革新・シニア）** 【経営層を目指す中堅幹部以上の方】
- **女性シニアリーダー育成プログラム** 【10年以内に会社の中核を担うシニアリーダーになりうる部長、上級課長クラス】
- **日経ビジネス経営塾** 【企業の幹部候補、次世代リーダー、経営層】
- **ネクスト・リーダー・プログラム（NLP）** 【企業・団体からの推薦者（ミドルリーダークラス）】
- **サプライチェーンマネジメント中核人材育成講座** 【将来 SCM 部門長となりうる現場中核人材（担当部長、担当課長、グループリーダークラス）】
- **スポーツ MBA Essence** 【ビジネスパーソン全般】
- **MBA エssenシャルズ** 総合コース／管理職向けコース／テーマ別コース 【ビジネスパーソン全般、又は MBA 入学を考える方】
- **カスタマイズ研修** 【応相談】 ※【】内は対象

当センターが提供するノンディグリー教育プログラムの詳細は、WEB サイトでご覧いただけます。 <https://www.waseda.jp/fcom/wbf>

早稲田会議 —CEO ラウンドテーブル—

当センターは、2010年より毎年「新たな日本の姿を模索する議論をすすめよう」をテーマに、日本を代表する経営者によって、企業が抱える問題点や改革すべき諸問題を考え、「魅力ある日本社会の創出」について議論する場である早稲田会議を実施しています。

2020年度～2024年度の参加企業・団体（企業名等は当時）

INCJ / あおぞら銀行 / アシックス / アスクル / アフラック生命保険 / ウォンテッドリー / エアークローゼット / エイチ・アイ・エス / ANAホールディングス / AGC / NTT データ / MS&AD インシュアランスグループホールディングス / 岡三証券グループ / カインズ / 花王 / 亀田総合病院 / キョコマン / キュービー / THE CREATIVE FUND / クロスフィールズ / ケイアンドカンパニー / kay me / GO FUND / 国際社会経済研究所 / コクヨ / コニカミノルタ / コマツ（小松製作所） / サイボウズ / サントリーホールディングス / サンバイオ / JSR / J-オイルミルズ / JTB / J-POWER / 電源開発 / 塩野義製薬 / 静岡銀行 / しずおかフィナンシャルグループ / 品川女子学院 / 清水建設 / 人事院 / SkyDrive / 生活協同組合コープさっぽろ / 世界経済フォーラム / セブン銀行 / ソフィアバンク / SOMPOホールディングス / 第一三共 / 第一生命ホールディングス / 大和証券グループ本社 / 高倉 & Company 合同会社 / 武田薬品工業 / TPO / 出前館 / テラドローン / テルモ / デロイトトーマツベンチャーサポート / 東京海上ホールディングス / 東芝 / 豊田通商 / ナガオカ / 日興アセットマネジメント / 日清オイリオグループ / 日本アイ・ビー・エム / 日本交通 / 日本総合研究所 / 日本たばこ産業 / 日本電気（NEC） / 日本電子 / 日本マイクロソフト / 日本マクドナルドホールディングス / PKSHA Technology / 阪急阪神ホールディングス / 東日本旅客鉄道 / ビジョンリーホールディングス / 日立製作所 / 広島県 / ファミリア / フォスター電機 / プラザー工業 / ポストコンサルティンググループ / ポピンズ / BONX / マネックスグループ / マブチモーター / みずほ銀行 / みずほフィナンシャルグループ / 三井住友トラスト・ホールディングス / 三井倉庫ホールディングス / 三井不動産 / 三越伊勢丹 / 三菱重工業 / 明電舎 / メディヴァ / MonotaRO / 森トラスト / ヤマトホールディングス / ヤマハ発動機 / ユーグレナ / ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン / ユニ・チャーム / 横河電機 / 吉野家ホールディングス / ライオン / Laboro.AI / リクルートホールディングス / 良品計画 / READYFOR / ロイヤルホールディングス / ロート製薬 / ワーク・ライフバランス / ワールド / WAMazing / Waris など

教員紹介

常勤教員

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

浅羽 茂 教授



① 経営戦略 ② 東京大学経済学部卒業。UCLA 経営大学院修了 (Ph.D.)。東京大学大学院経済学研究科修了 (修士、博士)。

③ 学習院大学教授、組織学会会長等を歴任。現在、日本甜菜製糖、沖電気社外取締役。

■ 全日主 MBA
■ 夜間主 MBA

蟻川 靖浩 准教授



① 企業経済学、コーポレートガバナンス ② 早稲田大学政治経済学部卒業、早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了、早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。

(2025年度 特別研究期間)

■ 全日主 MBA
■ 夜間主 MBA

池上 重輔 教授



① 国際経営、経営戦略、グローバル・リーダーシップ ② 早稲田大学商学部卒業、一橋大学 経営学博士、英国ケンブリッジ大学 MBA。

③ ポストン・コンサルティング・グループ (BCG)、MARS JAPAN を経て、ソフトバンク EC ホールディングス新規事業統括部ディレクター、ニッセイ・キャピタルチーフ・キャピタリストを歴任。

■ 全日主 MBA
■ 夜間主 MBA

伊藤 秀史 教授



① 組織の経済学、契約理論 ② 一橋大学卒業、Stanford 大学経営大学院博士課程修了 (Ph.D.)。

③ 京都大学、大阪大学助教授、一橋大学教授、日本経済学会会長等を歴任。法と経済学会理事。

(2025年度 特別研究期間)

■ 全日主 MBA
■ 夜間主 MBA

イネステーラー 笠 章子 教授



① 人材・組織、マーケティング ② 徳島大学医学部栄養学科卒業、芝浦工業大学大学院理工学研究科博士課程後期修了 (Ph.D.)。

③ 大塚製薬、Mars Japan、および、Bluebell Japan のマーケティングディレクター、Sisley Japan 代表取締役社長、大塚ホールディングス (株) 常務執行役員等を歴任。大塚ホールディングス (株) 顧問、異文化経営学会理事。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

入山 章栄 教授



① 経営戦略、国際経営 ② 慶應義塾大学卒業。ピッツバーグ大学経営大学院博士課程修了 (Ph.D.)。

③ 三菱総合研究所研究員、ニューヨーク州立大学バッファロー校アシスタント・プロフェッサー、株式会社マクロミル社外取締役等を歴任。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

薄井 彰 教授



① 会計学 ② 早稲田大学商学部卒業。早稲田大学商学修士。博士 (商学) 早稲田大学。

③ 日本会計研究学会会長、日本経済会計学会会長、日本経営分析学会会長、日本ディスクロージャー研究学会会長および国際会計研究学会理事を歴任。日本ディスクロージャー研究学会名誉会長。

■ 夜間主 MBA
■ MSc in Finance

内田 交謹 教授



① コーポレートファイナンス、応用ファイナンス ② 九州大学大学院博士課程修了。

③ 北九州市立大学講師・准教授、九州大学准教授・教授歴任。日本ファイナンス学会会長、Asian Finance Association Vice President、日本経営財務研究学会副会長、経営財務研究編集委員長、Australian Journal of Management Associate Editor、公認会計士試験委員等を歴任。

■ 夜間主 MBA

長内 厚 教授



① 技術経営、競争戦略 ② 京都大学卒業。同大学経済学研究科博士後期課程修了。博士 (経済学)。

③ ソニー商品戦略担当プレジデント付、神戸大学准教授、ハーバード大学客員研究員を歴任。現在、総務省情報通信審議会専門委員、台湾元大投信顧問他。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

川上 智子 教授



① マーケティング、イノベーション ② 大阪大学卒業、神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。

③ 関西大学教授、ワシントン大学連携教授等を歴任。現在、日本マーケティング学会理事、Journal of Product Innovation Management 編集委員、宝ホールディングス株式会社社外取締役他。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

菅野 寛 教授



① 総合経営、オペレーション ② 東京工業大学修士、カーネギーメロン大学修士 (MBA)。

③ ポストンコンサルティンググループ・パートナー、一橋大学国際企業戦略研究科 研究科長、フィンランド アアルト大学客員教授、オムロンヘルスケア社外取締役、協和キリン社外取締役等を歴任。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

木村 達也 教授



① マーケティング、ブランド戦略 ② 早稲田大学卒業。英ランカスター大学大学院修了 (MBA)。学術博士 (早大)。

③ 日米欧の企業にてブランド・マネジャー、マーケティング・マネジャー、および英オックスフォード大学、米コロンビア大学客員研究員、上場企業の社外役員等を歴任。

■ International MBA
■ MSc in Finance

COAD, Alex 教授



① 企業成長、企業パフォーマンス、イノベーション、ベンチャー企業 ② バリ第1大学 Ph.D., M.Sc. (経済)。

HEC ローザンヌ B.A. (経済)。

③ 欧州委員会、OECD・世界銀行外部コンサルタントを歴任。Research Policy, Small Business Economics 編集委員。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

斉藤 賢爾 教授



① フィンテック、分散ファイナンス、デジタルトランスフォーメーション ② コーネル大学コンピュータサイエンス学科工学修士課程修了 (M.Eng)。

慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程単位取得退学。博士 (政策・メディア)。

③ アカデミーキャンパ代表理事、自律分散社会フォーラム副代表理事、信頼資本財団理事。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

佐藤 克宏 教授



① 経営戦略、コーポレートファイナンス ② 慶応義塾大学法学部法律学科卒業。スタンフォード大学大学院修士課程修了。

京都大学経営管理大学院博士後期課程修了 (博士、経営科学)。

③ 日本開発銀行 (現 日本政策投資銀行)、マッキンゼー・アンド・カンパニーのパートナー等を歴任。

■ 夜間主 MBA
■ International MBA

柴崎 暁 教授



① 民法法学 (商法、金融法) ② 博士 (法学) (2004 年、早稲田大学)。

③ 山形大学・獨協大学・早稲田大学で助教授歴任。2008 年より早稲田大学教授。主著・手形法理と抽象債務 (2002 年、新青出版)。

■ 夜間主 MBA

澁谷 寛 教授



① マーケティング、消費者行動 ② 東京大学法学部卒業。慶應義塾大学修士 (MBA)・博士 (経営学)。

③ 東京電力、東北大学教授、学習院大学教授、レンヌ第一大学客員教授等を歴任。日本消費者行動研究学会会長、商業学会『JSMO レビュー』編集長、マーケティング学会『マーケティングジャーナル』副編集長等を歴任。

■ 全日主 MBA
■ International MBA

清水 信匡 教授



① 管理会計、コストマネジメント ② 早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学 (商学修士)。

③ 日本原価計算研究学会理事・常任理事、日本管理会計学会理事・常務理事、日本会計研究学会評議員等を歴任。

(2025年7月現在)

■ ■ ■ ■ 2026年度にゼミを持つプログラム

① 専門 ② 学歴 ③ 社会活動等

*2025年度に特別研究期間を取得している教員は、2026年度も延長する場合があります。

■ 夜間主 MBA

杉浦 正和 教授



① 人材・組織マネジメント ② 京都大学卒業。スタンフォード大学経営大学院修了 (MBA)。

③ 日産自動車、ペイン、マーサー、シティバンク、シュローダー (人事部長) 等を歴任。人材育成学会常任理事、早稲田大学 GSL 研究所所長、国立音楽大学理事 (経営戦略担当)。

■ 全日主 MBA
■ 夜間主 MBA

杉田 浩章 教授



① 総合経営、トランスフォーメーション戦略、新規事業 ② 東京工業大学卒業。慶應義塾大学経営管理研究科修了 (MBA)。

③ ポストン・コンサルティング・グループ (BCG) 元日本代表、現在はシニア・アドバイザー。ユニ・チャーム社外取締役、Kaizen Platform 社外取締役、Luup 社外取締役。

■ 夜間主 MBA
■ MSc in Finance

鈴木 一功 教授



① コーポレート・ファイナンス、企業の買収 (M&A) ② 東京大学卒業、欧州経営大学院 MBA、ロンドン・ビジネススクール金融経済学博士。

③ 証券アナリストジャーナル編集委員、みずほ銀行企業価値評価アドバイザー。

■ 夜間主 MBA

竹内 規彦 教授



① 組織行動、人材マネジメント、キャリア開発 ② 名古屋大学大学院博士課程修了。博士 (学術)。

③ 経営行動科学学会会長、Asia Pacific Journal of Management 副編集長、京都大学経営管理大学院客員教授等を歴任。

■ 夜間主 MBA
■ MSc in Finance

竹原 均 教授



① アセットプライシング、ポートフォリオ管理 ② 筑波大学社会学部卒業、同大学院博士課程社会学研究科単位取得退学。博士 (経営工学)。

③ 日本ファイナンス学会理事、日本経営財務研究会評議員。

■ 全日主 MBA
■ 夜間主 MBA

田村 泰一 准教授



① 新規事業マネジメント、ICT、素材、医療分野の技術経営戦略 ② 早稲田大学卒業。東京大学大学院工学研究科修士課程修了。

③ 文部科学省、経済産業省等を歴任。

常勤教員

張 明恩 准教授

■ International MBA
■ MSc in Finance



- ① 市場流動性、不動産投資、持続可能なスポーツ金融
② 香港大学卒業。(Ph.D.) (ファイナンス) 香港大学。
③ 欧州コーポレート・ガバナンス学会会員、ウィーン大学、マカオ大学准教授等を歴任。

中里 大輔 教授

■ 夜間主 MBA
■ MSc in Finance



- ① 金融工学、数理ファイナンス ② 早稲田大学理工学部、MIT コンピューター学科学博士。 ③ みずほファイナンシャルテクノロジー取締役研究理事(前職)。

西出 勝正 教授

■ 夜間主 MBA
■ MSc in Finance



- ① インベストメント、応用ファイナンス ② 京都大学大学院経済学研究科修了、博士(経済学)。 ③ 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院、一橋大学大学院経済学研究科、証券アナリストジャーナル編集委員等歴任。

西山 茂 教授

■ 夜間主 MBA
■ International MBA



- ① 会計学、企業財務論 ② 早稲田大学卒業。Pennsylvania 大学経営大学院修了(MBA)。学術博士(早大)、公認会計士。 ③ (監) トーマツ、コンサルティング会社代表、上場企業の社外役員等を歴任。

根本 直子 教授

■ 夜間主 MBA
■ MSc in Finance



- ① 金融機関経営、ESG 投資 ② 早稲田大学法学部卒業、シカゴ大学経営大学院修了(MBA)。一橋大学博士(商学)。 ③ 日本銀行、S&Pグローバル、アジア開銀研究所に勤務。地域経済活性化支援機構、社外取締役、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)経営委員、みずほ銀行社外取締役。

長谷川 博和 教授

■ 全日主 MBA
■ 夜間主 MBA



- ① 新規事業、ベンチャービジネス、ファミリービジネス ② 中央大学卒業。早稲田大学博士後期課程修了(学術博士)。 ③ グローバルベンチャーキャピタル会長。野村総合研究所主任研究員、ジャフコ等を歴任。
(2025年度 特別研究期間)

東出 浩教 教授

■ 全日主 MBA
■ International MBA



- ①アントレプレナーシップ、クリエイティビティ、倫理と哲学 ② 慶應義塾大学卒業。London 大学 Imperial College 修了(Ph.D., MBA, DIC)。③ ウェルインベストメント取締役、CIESF (Cambodia International Education Support Foundation) 評議員。

樋原 伸彦 准教授

■ 夜間主 MBA
■ MSc in Finance



- ① 金融仲介論、イノベーションのファイナンス ② 東京大学卒業(国際関係論)、Columbia 大学博士課程修了(Ph.D.)。 ③ 世界銀行コンサルタント、Saskatchewan 大学(カナダ)助教授等を歴任。

堀江 徹 教授

■ International MBA



- ① グローバル経営、人材・組織 ② 早稲田大学商学部卒業。南洋理工大学(NTU)経営大学院修士(MBA)修了。 ③ EY ジャパンパートナー、エーオンヒューイットジャパン社長、ヘイグループ日本企業担当グローバル本部長、マーサータイランド社長、マーサー日本企業担当アジア本部長を歴任。早稲田大学トランスナショナルHRM 研究所所長。

本田 桂子 教授

■ 夜間主 MBA



- ① 企業価値創造型経営、コーポレートガバナンス、サステナブル投資 ② 米ペンシルバニア大学経営学大学院(ウォートンスクール)修士課程修了(MBA)。 ③ マッキンゼーシニアパートナー、世界銀行グループ多数国間投資保証機関長官CEOを歴任。東京大学運営方針会議議長、国連投資委員会委員、三菱UFJフィナンシャルグループ・リクルートホールディングス・AGC社外取締役。

牧 兼充 准教授

■ 夜間主 MBA



- ① テクノロジー・マネジメント、イノベーション&アントレプレナーシップ、科学技術政策 ② 慶應義塾大学卒業、カリフォルニア大学サンディエゴ校博士(経営学)。 ③ カリフォルニア大学サンディエゴ校客員助教授、科学技術学術政策研究所客員研究官。

LAU, David 准教授

■ International MBA
■ MSc in Finance



- ① 情報開示、会計監査、コーポレートガバナンス ② オークランド大学ビジネススクール卒業(商学学士、会計学博士)。 ③ オーストラリア、ニュージーランド勅許公認会計士協会会員。

伊藤 友則 ビジネス・ファイナンス
研究センター研究院教授

- ① コーポレートファイナンス、M&A ② 東京大学経済学部卒業。ハーバード大学経営大学院修士(MBA)。 ③ 東京銀行、UBS 証券会社投資銀行本部長、一橋大学教授を歴任。現在 J-POWER (電源開発)、三井住友海上火災保険会社、三井住友トラスト・ホールディングス社外取締役。

尾崎 弘之 ビジネス・ファイナンス
研究センター研究院教授

- ① 大学発スタートアップ経営、オープンイノベーション ② 東京大学法学部卒業、ニューヨーク大学経営大学院修了(MBA)、早稲田大学大学院博士後期課程修了、博士(学術)。 ③ 野村證券、モルガン・スタンレー、ゴールドマン・サックス、東京工科大学教授、神戸大学教授を歴任。神戸大学名誉教授。核融合エネルギー、原子力エネルギー、大学発ベンチャーなどの政府・自治体委員、複数上場企業の社外役員。

沼上 幹 ビジネス・ファイナンス
研究センター研究院教授

■ 夜間主 MBA



- ① 経営戦略論、経営組織論 ② 一橋大学社会学部卒業。一橋大学大学院商学研究科博士(商)。 ③ 一橋大学大学院経営管理研究科教授、研究科長、同大学理事・副学長。組織学会会長。現在、JFE ホールディングス株式会社社外監査役、東京センチュリー株式会社社外取締役、株式会社荏原製作所社外取締役。

グエン フォン バオ チャウ ビジネス・ファイナンス
研究センター助教

- ① サービス・マーケティング、消費者行動 ② 一橋大学商学部卒業、一橋大学大学院経営管理研究科博士後期課程修了(博士、商学)。

(2025年7月現在)

■ ■ ■ ■ 2026年度にゼミを持つプログラム

① 専門 ② 学歴 ③ 社会活動等

*2025年度に特別研究期間を取得している教員は、2026年度も延長する場合があります。

客員教員 (2025年度)

- 伊藤 敬介 成蹊大学 教授(元 みずほ第一フィナンシャルテクノロジーシニアプリンシパル)
■ 今村 英明 新潟産業大学 教授(元 ポストン・コンサルティング・グループ<BCG>シニア・パートナー)
■ 大崎 貞和 株式会社野村総合研究所 未来創発センター フェロー
■ 大島 洋 株式会社ILD 代表
■ 及川 直彦 株式会社KNラボ 代表取締役(元 電通コンサルティング 代表取締役社長)
■ 瀧口 匡 ウェルインベストメント株式会社 代表取締役社長
■ 鶴谷 武親 ポリゴンマジック 代表取締役社長
■ 新原 浩朗 ハーバード・ビジネス・スクール エグゼクティブ・フェロー、東京大学公共政策大学院 客員教授、NTT データ経営研究所 特別顧問、キャノングローバル戦略研究所 研究主幹(元経済産業省 経済産業政策局長、内閣審議官(事務次官級))
■ 服部 暢達 合同会社服部暢達事務所 代表取締役株式会社ファーストリテイリング 社外取締役
■ 藤岡 資正 明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科 教授
■ 程 近智 ベイヒルズ株式会社 代表取締役
■ 松川 孝一 公益財団法人日本英語検定協会 理事長シンクログローバル株式会社 ファウンダー
■ 三谷 宏治 K.I.T.(金沢工業大学)イノベーションマネジメント研究科専攻副主任教授(元 アクセンチュア 戦略グループ統括)

訪問教員 (2025年度)

- ALAM, Ian Distinguished Professor of Marketing, School of Business, State University of New York College at Geneseo
■ HAMDI-KIDAR, Linda Associate Professor in Marketing, TBS Education (Toulouse Business School)
■ KIM, Sung Soo Eric Founder and CEO, Datacrunch Global
■ TAN, Judy Director and Co-Founder, Eatigo
■ WIWATTANAKANTANG, Yupana Associate Professor, NUS Business School, National University of Singapore



Data

詳細は必ず入学試験要項にて確認してください

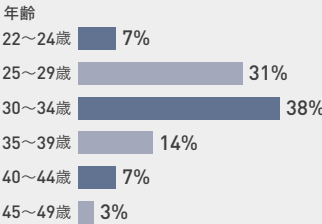
基本情報

入学時期	標準修業年限	プログラム名	募集人員	授与学位
4月 (主に日本語履修)	1年	全日制 MBA	35名	経営管理修士(専門職)／ Master of Business Administration
	2年	夜間主 MBA	150名	
9月 (主に英語履修)	14か月	早稲田 - ナンヤン ダブル MBA※	若干名	
	2年	International MBA	45名	
		MSc in Finance	20名	ファイナンス修士(専門職)／ Master of Science in Finance
入学定員 255名				

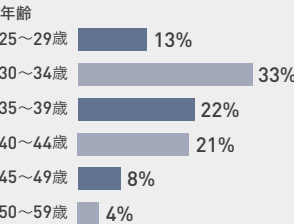
※上記の学位とナンヤン理工大学のダブルディグリーです。Master of Business Administration, Nanyang Technological University

入学者データ (2025年4月入学)[※]

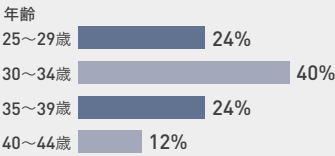
全日制グローバル



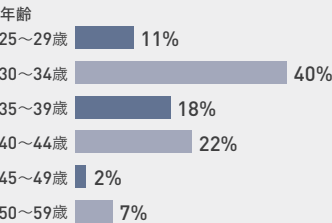
夜間主総合



1年制総合(全日制)

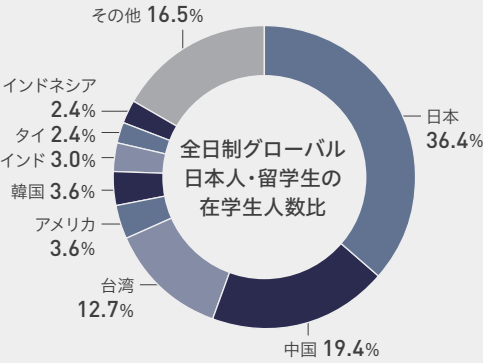


夜間主プロフェッショナル



※端数処理の関係で合計が100%とならない場合があります。
※2026年度以降は、プログラム改編により、全日制グローバルおよび1年制総合は全日制 MBA に
夜間主総合および夜間主プロフェッショナルは夜間主 MBA に統合されます。

在学生データ (2025年5月現在)



その他:
イギリス、カナダ、ケニア、シンガポール、スリランカ、チリ、ドイツ、
ニュージーランド、フィリピン、フランス、ブラジル、ブルネイ・ダルサラーム、
ベトナム、香港、マラウイ、ミャンマー、南アフリカ、メキシコ、モンゴル



WBS キャリアマネジメントセンター (WBS CMC)

当研究科では、WBS 生に特化したキャリア支援組織を設置し、学生のさまざまなキャリアビジョンの実現をサポートしています。主な支援内容として、全日制プログラムの学生を対象としたインターンシップや求人案件の定期的な情報提供、入学時キャリアガイダンス、キャリアディベロップメントや就職準備に関する少人数ワークショップを適宜開催しています。また、個別キャリアアカウンセリングでは、1回あたり約50分、国家資格を有するキャリアアカウンセラーがその学生の関心や経歴に応じてきめ細やかな相談対応を行っています。

WBS 学内企業説明会実施例 ※2020年～2024年度実施実績

- | | | |
|-------------------|---------------------------------------|-------------------------------|
| ・アーディアン・ジャパン株式会社 | ・KPMG コンサルティング株式会社 | ・BRJ 株式会社 |
| ・アクセンチュア株式会社 | ・ジェイウェルコーポレーション | ・BTS ジャパン株式会社 |
| ・アマゾンジャパン合同会社 | ・株式会社 JERA | ・ブルームバーグ L.P. |
| ・ウィプロ・ジャパン株式会社 | ・第一生命インターナショナル
ホールディングス合同会社 | ・Vector Renewables Japan 株式会社 |
| ・Uber Japan 株式会社 | ・Tata International Ltd. | ・Fever |
| ・エコラボ合同会社 | ・千葉銀行 | ・Point72 |
| ・SBI インベストメント株式会社 | ・デロイトトーマツ コンサルティング
合同会社 (モニターデロイト) | ・三井物産株式会社 |
| ・NYC 株式会社 | ・Nissan Motor Co., Ltd. | ・リシュモンジャパン株式会社 |
| ・Gyoseki 株式会社 | ・野村證券株式会社 | ・株式会社レノバ |
| ・グーグル合同会社 | | ・レノバ・ジャパン合同会社 など |

全日制グローバル修了者の近年の主な進路 ※2020年～2024年度実績

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ・アクセンチュア株式会社 | ・サイバーエージェント株式会社 | ・POSCO INTERNATIONAL (韓国) |
| ・アフラック生命保険株式会社 | ・中国民生銀行 | ・マーケットワン・ジャパン合同会社 |
| ・アモーレパシフィックジャパン
株式会社 | ・デュボン株式会社 | ・メタジェンセラピューティクス株式会社 |
| ・インターブランドジャパン
株式会社 HRBrain | ・テルモ株式会社 | ・Meltwater Japan 株式会社 |
| ・株式会社オーツーツー・パートナーズ | ・デロイトトーマツ コンサルティング
合同会社 | ・ヤフー株式会社 |
| ・株式会社商船三井 | ・日本エア・リキード株式会社 | ・ライオン株式会社 |
| ・株式会社中国電視 | ・日本マイクロソフト株式会社 | ・株式会社ライズ・コンサルティング・
グループ |
| ・交通銀行 (中国) | ・ByteDance 株式会社 (TikTok) | |
| | ・華為技術日本株式会社 (Huawei) | |

修了者数 (2025年3月末時点)

2016年度以降	2015年度以前	
経営管理研究科 修了者数：2,391名	商学研究科ビジネス専攻 修了者数：3,395名 [※]	ファイナンス研究科 修了者数：1,605名

※前身のアジア太平洋研究科国際経営学専攻と商学研究科商学専攻夜間主 MBA プログラムの修了者を含む。

入学試験

詳細は必ず入学試験要項にて確認してください

入試の種類

入試区分	プログラム	全日制 MBA	夜間主 MBA	International MBA	MSc in Finance	早稲田 - ナンヤン ダブル MBA
一般入試	秋募集	●	●	－	－	－
	冬募集	●	●	－	－	－
企業派遣入試	秋募集	●	●	－	－	－
	冬募集	●	●	－	－	－
事業承継者入試	秋募集	●	－	－	－	－
	冬募集	●	－	－	－	－
	春募集	－	－	●	－	－
AO入試		－	－	●	●	●

「●」：プログラムに該当する入試 「－」：該当する入試はありません

出願資格（2026年4月入学。詳細は必ず入学試験要項にて確認してください。）

■ 全日制 MBA ■ 夜間主 MBA

以下の(1)①～⑦のいずれか、および(2)(3)の要件を満たしている者。

- ①大学を卒業した者、または2026年3月までに卒業見込みの者
- ②大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、または2026年3月までに授与される見込みのある者
- ③外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または2026年3月までに修了見込みの者
- ④外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または2026年3月までに授与される見込みのある者（中国の3年制大学卒業生は該当しません）
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または2026年3月までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（中国の3年制大学卒業生は該当しません）
- ⑦当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月までに22歳に達する者

- (2)当研究科入学までに、常勤者として満3年以上の実務経験を有する者
2026年度入学試験において、全日制 MBA では「(2)当研究科入学までに、常勤者として満3年以上の実務経験を有する者」の出願要件は必須といしません。2027年度入学試験より適用いたします。
2026年度入学試験では、2025年度と同様に「常勤者として満3年以上の実務経験を有することが望ましい」とし、実務経験3年未満で出願される方は、所定のエッセイ (Form1-7、エッセイ1) に必要事項を記入してください。
※エッセイの内容はオンライン出願システムの入力を進めることで確認できます。

- (3)日本語が母語でない場合は、日本語能力試験 (JLPT) 1級または N1 に合格している者 (証明するスコアレポートの提出が必要)

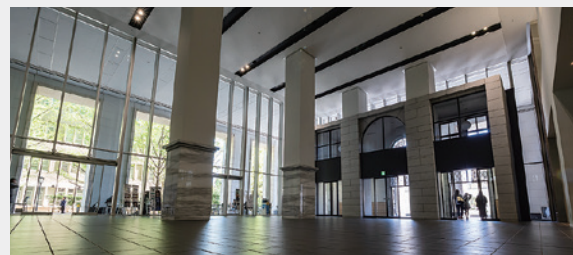
(注) 上記 (1) ①、⑥の「大学」は、日本国内の大学を指します。
(注) 上記 (1) ⑥、⑦で出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、当研究科事務所までお申し出いただき、その指示に従ってください。当研究科が認めた者について出願を受け付け、受験を許可します。
入学資格審査申出期日 秋募集：2025年 9月10日 (水)
冬募集：2025年12月 1日 (月)

■ International MBA ■ MSc in Finance

それぞれの入学試験要項にてご確認ください。

■ 早稲田 - ナンヤン ダブル MBA

プログラムの Web サイトをご参照ください。



入試日程

一般入試・企業派遣入試・事業承継者入試

入試日程、選考方法に変更が生じる可能性があります。変更が発生した場合、当研究科の Web サイトで周知いたします。
第二次選考 (面接) については第一次選考の合格者のみを対象として、本学早稲田キャンパスで、対面での面接を実施します。

	秋募集	冬募集
出願期間	2025年9月17日 (水)～9月24日 (水)	2025年12月8日 (月)～12月15日 (月)
第一次選考合格者発表	2025年11月 6日 (木)	2026年2月 5日 (木)
第二次選考 (面接)	2025年11月23日 (日)	2026年2月15日 (日)
第二次選考合格者発表	2025年11月27日 (木)	2026年2月19日 (木)
入学手続締切日	2025年12月12日 (金)	2026年2月27日 (金)

【注意事項】
※ 入試に関する詳細情報については必ず入学試験要項をご確認ください。

入試データ

2025年4月入試 ※秋募集・冬募集による人数を記載しています。

プログラム	出願者 (人)	合格者 (人)	合格倍率 (倍)	入学者 (人)
全日制プログラム (全日制グローバル・1年制総合)	191	60	3.2	54
夜間主総合	581	124	4.7	111
夜間主プロフェッショナル (マネジメント専修・ファイナンス専修)	155	49	3.2	45
合 計	927	233	4.0	210

※2026年度よりプログラム改編を行うため、2026年度の開講プログラムとプログラム名が異なっております。

2024年9月入試 ※AO入試、事業承継者入試等による人数を記載しています。

プログラム	出願者 (人)	合格者 (人)	合格倍率 (倍)	入学者 (人)
International MBA・MSc in Finance	236	105	2.2	74

入学金・学費等

2026年度入学者 入学金・学費・諸会費

■ 全日制 MBA

単位：円

年度	納入期	入学金	学費	諸会費		合計
			授業料	学生健康増進互助会費	校友会費	
初年度	入学時(春学期)	300,000	1,489,000	1,500	—	1,790,500
	秋学期	—	1,489,000	1,500	40,000	1,530,500
	計	300,000	2,978,000	3,000	40,000	3,321,000

■ 夜間主 MBA

単位：円

年度	納入期	入学金	学費	諸会費		合計
			授業料	学生健康増進互助会費	校友会費	
初年度	入学時(春学期)	300,000	788,500	1,500	—	1,090,000
	秋学期	—	788,500	1,500	—	790,000
2年度	春学期	—	938,500	1,500	—	940,000
	秋学期	—	938,500	1,500	40,000	980,000
計		300,000	3,454,000	6,000	40,000	3,800,000

■ International MBA

■ MSc in Finance

単位：円

年度	納入期	入学金	学費	諸会費		合計
			授業料	学生健康増進互助会費	校友会費	
初年度	入学時(春学期)	300,000	882,500	1,500	—	1,184,000
	秋学期	—	882,500	1,500	—	884,000
2年度	春学期	—	1,032,500	1,500	—	1,034,000
	秋学期	—	1,032,500	1,500	40,000	1,074,000
計		300,000	3,830,000	6,000	40,000	4,176,000

※2026年度入学者より学費額が改定となります。
※本学卒業・修了および退学の方の入学金は免除となります。
※一部の科目履修において別途費用が必要となる場合があります。
※早稲田 - ナンヤン ダブル MBA については P.22 をご参照ください。



入学後奨学金

※入学後に申請し、在学中に採用が決定する奨学金です。

日本人等を対象とした主な奨学金

奨学金名	種別	奨学金額
大隈記念奨学金	給付	400,000円(単年度)
小野梓記念奨学金	給付	400,000円(単年度)
日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)	貸与	月額50,000円と88,000円のいずれかから選択(標準修業年限内)
日本学生支援機構第二種奨学金(有利子)	貸与	月額50,000円～150,000円の設定額から選択(標準修業年限内)

私費外国人留学生を対象とした主な奨学金

奨学金名	種別	奨学金額
小野梓記念外国人留学生奨学金	給付	400,000円(単年度)
私費外国人留学生授業料減免奨学金	給付	学費半額(単年度)
外国人留学生学習奨励費	給付	月額48,000円

※奨学金額はいずれも予定額です。2026年度の給付額は変更になる場合があります。

教育訓練給付金について

厚生労働省の教育訓練給付制度は、雇用保険の被保険者(在職者)または被保険者であった方(離職者)のうち一定の条件を満たす方が、指定講座に正規生として入学し、かつ必要な要件を満たした場合、支払った教育訓練経費の一部がハローワーク(公共職業安定所)から支給されるものです。
全日制 MBA および夜間主 MBA とともに、専門実践教育訓練給付制度の対象となるかは2026年3月に決定します。
2026年4月入学者が本制度を適用できない可能性もありますので、あらかじめご了承の上で受験をご検討ください。



授業開講時間

〈プログラム〉

■ 全日制 MBA ■ International MBA
■ MSc in Finance

時 限	時 間
1時限(100分)	8:50 ～ 10:30
2時限(100分)	10:40 ～ 12:20
3時限(100分)	13:10 ～ 14:50
4時限(100分)	15:05 ～ 16:45
5時限(100分)	17:00 ～ 18:40
6時限(100分)	18:55 ～ 20:35
7時限(50分)	20:45 ～ 21:35

〈プログラム〉

■ 夜間主 MBA

時 限	時 間	月～金曜日	土曜日
1時限(100分)	8:50 ～ 10:30	—	○
2時限(100分)	10:40 ～ 12:20	—	○
3時限(100分)	13:10 ～ 14:50	—	○
4時限(100分)	15:05 ～ 16:45	—	○
5時限(100分)	17:00 ～ 18:40	—	○
6時限(100分)	18:55 ～ 20:35	—	○
7時限(50分)	20:45 ～ 21:35	—	—
夜間6時限(100分)	18:30 ～ 20:10	○	—
夜間7時限(100分)	20:20 ～ 22:00	○	—